

会長のページ	オンライン診療	河野 雅行	3
COVID-19報告	新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き（10月5日現在）	吉田 建世	4
日州医談	新型コロナウイルス感染禍における妊婦管理	濱田 政雄	6
特集	医療秘書(3) 宮崎短期大学 現代ビジネス科 医療事務・医療秘書コース	黒野 伸子, 武村 順子	8
退任挨拶	宮崎大学医学部教授退任挨拶	岡山 昭彦	10
就任挨拶	宮崎大学医学部教授就任挨拶	海北 幸一	11
エコー・リレー（555）		八尋 克三, 上野 満	13
メディアの目	ガラミが結んだ宮崎と福岡の縁	佐伯 浩之	14
身近なお困りごと相談室			15
国公立病院だより	宮崎市総合発達支援センター	大庭 健一	20
宮崎大学医学部だより	（宮崎大学医学部附属病院－薬剤部－）	池田 龍二	22
部会だより	（園医部会）	高山 修二	23
診療メモ	子宮内膜症の臨床	米田由香里	58
宮大医学部学生のページ	カリキュラム変更とコロナ禍における学生会の役割	河野 大地	60

あなたできますか？（令和2年度医師国家試験問題より）	12
宮崎県感染症発生動向	16
各都市医師会だより	18
九州医師会連合会第392回常任委員会	25
九州医師会連合会第393回常任委員会	26
ベストセラー	27
全国医師会医療秘書学院連絡協議会	
第71回定例総会・令和3年度第1回運営委員会【Web会議】	28
日医インターネットニュースから	30
医師国保組合だより	32
医師協同組合だより	34
追悼のことば	35
会員の異動・変更報告	36
理事会日誌	38
県医の動き	42
ドクターバンク情報	43
行事予定	49
医学会・講演会	51
あとがき	68

お知らせ	令和3年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	9
	「新春随想」原稿募集	24
	カット・イラストの募集	29
	日州医事へのご意見・ご感想	47
	郡市医師会への送付文書	62
	医療勤務環境改善支援センター	66
	日州医事投稿についてのお知らせ	67

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

ニャハハ

子ねこがふとんの上でたまをとっているところを写真に撮りました。

まだ遊び足りない様子の1コマです。この写真を第22回宮崎県医師会医家芸術展へ出品できましたこと、また日州医事に載せていただき嬉しく思います。

宮崎県医師会の皆様方に感謝いたします。

さか い みわ こ
都城市 酒 井 美絵子

会長のページ

オンライン診療

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

コロナ禍でオンライン診療がクローズアップされてきました。緊急事態の処置として、それまでデメリットとされた部分も併殺して一気に容認されたようです。一部では緊急避難的な処置だとの見解もあるようですが、一旦実施されたものを元に戻すのは困難です。アフターコロナで世の中は変わるといわれているように、地域医療も相当影響を受けるものと思われます。今回、私たちもさまざまな場面でWeb会議を経験して、オンラインの利点も理解しました。単に技術的な面では問題ないようです。日医は「診療は対面が基本」との見解ですが、行政や一部に利便性を第一と捉えて初診からオンライン診療をとの強い意見もあります。今回のようにコロナ感染症の猛威下では対面に制限があり、止むを得ずオンライン診療に頼らざるを得ませんでした。

厚労省のQ & Aではオンライン診療で可能な疾患例が挙げられています。患者さんにとっては医療機関を受診する手間が省けて、悪評高い待ち時間のない診療ができれば素晴らしいことです。しかし、トラブル発生の際に責任の有無はどのようなのでしょうか。指針によれば、診療時は病態を充分確認してあたることとされています。一方で、そもそもオンライン診療で可能な程度であれば、受診する意味合いがあるのかとの皮肉めいた意見もあります。また、受診可能であってもオンラインを選択する傾向になるかもしれません。

オンライン診療が市民権を得てくれば、診断学の見直しとともに医学部教育も変革を迫られることになるでしょう。私たちの年代は対面診療を基本として学びましたので、対応に困惑しています。開業のあり方も変革するでしょう。SF映画のように診療所はTVや通信機器、コンピュータに囲まれた事務所となり、職員や医療機器を備えた従来型の小規模施設は淘汰されるかもしれません。オンラインによる在宅医療が今後一定の治療形態として確立されてくるものと思われます。

専門家の間でもいわれますように、オンライン診療は利点ばかりではありません。最も危惧されるのは諸症状・所見の見落としです。新型コロナの第5波では、首都圏において、コロナ感染症の自宅療養患者に対して、保健所による電話での健康観察が行われていましたが、いつの間にか自宅で死亡した例が多数報告されています。医師による対面診療ができれば防げたかもしれません。コロナ以外にも、オンライン診療の先進地域である海外で死亡例が報告され、問題になっています。

オンライン診療における医師の責任は対面診療と同一であるとされていますし、日医や九医連の会合ではオンライン診療に関した質問や討議が多く、皆が困惑しているのが伺えます。このような中でオンライン診療をビジネスチャンスと捉えている企業もあると聞きます。なんとなく割り切れない気持ちです。

オンライン診療を今後の医療の在り方として受け入れざるを得ないとすれば、よい方向に発展して欲しいものです。
(令和3年10月20日)

COVID-19報告



新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き（10月5日現在）

宮崎県医師会 常任理事 よし だ けん せい
吉 田 建 世

新型コロナウイルス感染症は、感染力の強い「デルタ株」による感染急速拡大のため、令和3年7月より「第5波」に突入し、全国での新規感染者数が、ピークの8月20日には過去最高の2万5,852人を数え、『緊急事態宣言』が21都道府県に、『まん延防止等重点措置』が宮崎県を含め12県に適用されることになったが、国民全体の努力によって、新規感染者数は徐々に減少し、ついに令和3年9月30日にすべての都道府県で宣言・措置が解除されることとなった。

「デルタ株」は、感染力が強く水痘並みで、従来株の2～3倍と言われるが、高齢者では、新型コロナワクチンの接種が進むにつれ、新規感染者数や重症者数が減少し、65歳以上では全体の1割を切った。代わりにワクチン接種が進んでいない50歳代以下の年代で、新規感染者数や重症者数が多くなった。「第5波」が収束した理由には、国民の自粛や移動制限もあるが、ワクチン接種が進んできた効果も十分に考えられるところである。

新型コロナワクチン接種率は、全国的に65歳以上の高齢者は2回接種が90%を超えて、全年代では1回目接種が全人口の65%、2回目接種が55%となり、若い人の接種率も上がってきている。

今後、「第6波」が懸念される中で、もうすぐ冬のインフルエンザの時期を迎えるが、イン

フルエンザと新型コロナウイルス感染症が合併すると重篤化しやすいと言われているので注意が必要である。今年は去年とは違い、すでにインフルエンザ発生の報告が散見されているが、インフルエンザワクチンの供給が、12月までにずれ込む予定と聞いている。新型コロナウイルス感染症と同様に、インフルエンザのワクチンも、できるだけ多くの県民に受けていただき、今後、感染予防対策を継続していただきたいと考える。

10月5日現在の県医師会のCOVID-19関連の主な活動を報告します。

【主な活動】

1 会議等

- 9月28日 県新型コロナウイルス感染症対策協議会（濱田副会長、峰松理事）
- 9月29日 新型コロナウイルス感染症患者転院受入支援事業のご案内

2 日本医師会からの情報収集

- 9月24日 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会【日医TV会議】

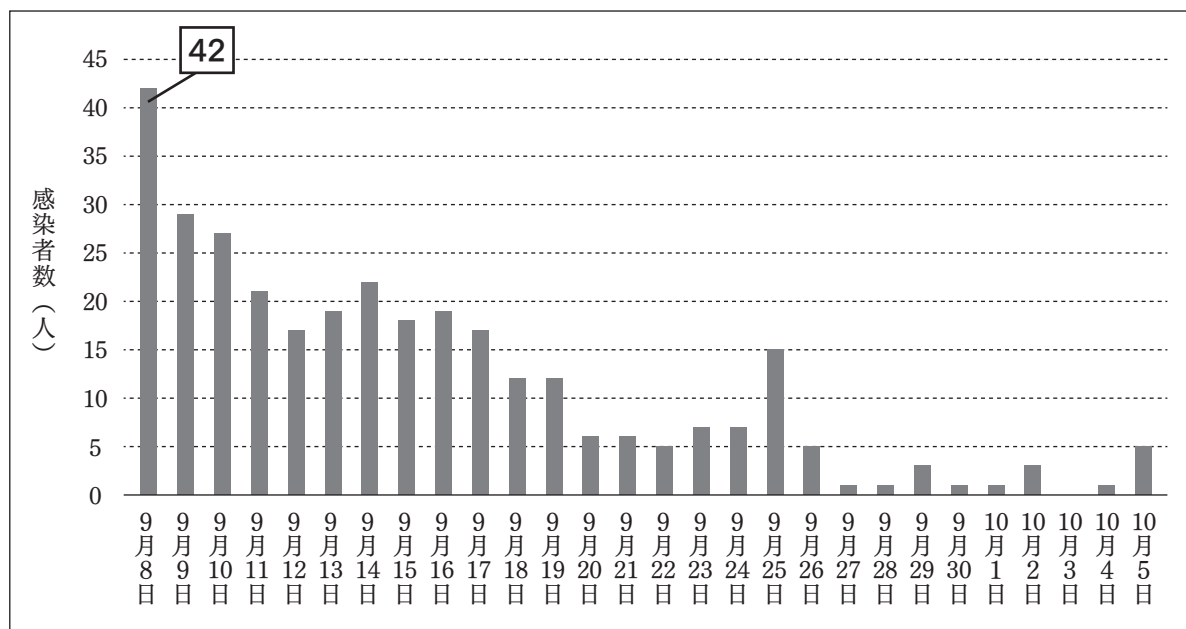
3 会員への情報発信等

FAXニュースの発信

9月30日	FAXニュースNo.489 新型コロナウイルス感染症への対応について (57) ●新型コロナウイルス感染症に係る10月以降の診療報酬上の臨時的な取扱い等について ●「診療・検査医療機関」への感染防護具の配布について
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 患者発生状況（公表日）

感染者数（9月8日～10月5日） 322名



宮崎県医師会では、「新型コロナウイルス感染症」に関するさまざまな情報（診療・ワクチン接種の手引き、各種支援金・融資、診療報酬の取扱いなど）をホームページ（<http://www.miyazaki.med.or.jp/>）やメーリングリスト（MMA通信）にて随時お知らせしております。

メーリングリスト（MMA通信）への登録を希望される場合は、県医師会事務局宛（office@miyazaki.med.or.jp）にメールを送信してください。折り返し事務局から登録に関するメールを送信いたします。

日州医談



新型コロナウイルス感染禍における妊婦管理

宮崎県医師会 副会長 ^{はま}濱 ^だ田 ^{まさ}政 ^お雄

令和に元号が変わってももなく、とんでもない災害に襲われ医療関係はもちろんのこと、すべての領域において普通のことがいかに素晴らしかったかと思出す間もないほどに自由な思考・行動が規制されている。新型コロナウイルスの感染拡大は、その正体が分からぬままに“感染力は強い”に焦点を合わせての初期対応が行われた。そのため、それまでほとんど稼働したことのなかった感染症指定医療機関への入院管理を必要とする第二種感染症に指定された。本県でも国の指示により各医療圏に1か所の感染症指定医療機関があったが、7病院30床に過ぎなかった。そのため急遽、感染者を収容できる協力医療機関の募集が行われた。その収容可能数を確保病床数としたが、即時に入院させることにはかなり乖離が認められた。理由としては、各部屋にひとりの収容で感染を防ぐ動線や必要スタッフ確保などの時間を考慮すると、少なくとも数日から2週間は要するためと考えられた。感染病床スペースおよび看護師の確保のために病棟の閉鎖を余儀なくされることもある。通常診療でも医療資源が脆弱な本県ではその対応は困難を極め、十分と言える状況とは言えないが会員それぞれに非常な努力をいただき、現時点では確保病床数は327床に増加している。第3波までは自宅での感染拡大を防ぐために原則入院とし、医療機関の負担軽減のため

無症状者や軽症者は宿泊施設での隔離とした。第4波でも自宅療養者がいたが、第5波では入院は中等症以上との国の方針もあり、自宅療養となった感染者が多く最大時には800名に及んだ。第5波初期に、受け入れ先決定を待っていた感染判明者が急変により不幸な転帰となる事例が生じた。その後は自宅療養者に対する看護師と医師による連日の健康チェックと症状変化に対する対応マニュアル作成で不幸な事例の発生は抑えられている。

さて、このような急速な感染者増加を示す新型コロナウイルス感染症（ラムダ株）では、入院病床逼迫から千葉県において自宅療養中の妊娠29週の妊婦が、症状急変により入院調整が行われたものの受け入れ先が見つからず、最終的に自宅出産を余儀なくされ、その後新生児が死亡するといった痛ましい事例が発生した。アルファ株までは妊娠は症状悪化の重症化リスク因子とは考えられていなかったが、ラムダ株では妊婦が感染した場合には、重症化する割合や早産などの率が上昇するという報告がある。妊娠という特殊な状態の感染者は一般の収容施設では産科的異常の把握と管理ができないため、受け入れ体制を事前に構築していないといわゆるたらい回しの状況を生みやすい。周産期異常症例の日常での受け入れ体制は各地域で確立されているが、その連携には感染は全く考慮されて

いない。本県では昨年4月、新型コロナウイルス感染症が蔓延化した際に妊婦感染推定値に対するマニュアルは作成したが、第5波の感染者数は想定を超え一義的に入院管理とした枠から外れ自宅療養を余儀なくされた事例が出た。自宅療養時の管理では、必須であるパルスオキシメーターによる酸素飽和度観察に加えて、分娩監視装置による胎児の元気度チェック（胎児心拍数モニタリング）が非常に重要である。パルスオキシメーターが94%を下回ると胎児に対する酸素供給が危険域にあると考えられ、早期の対応が求められ胎児心拍数モニタリングによる判断で急速墜娩（帝王切開分娩）も考慮される。残念ながら現在は、自宅・宿泊療養者に対する胎児心拍数モニタリングの準備ができていない状況であり、第6波に向けて早急に自宅・宿泊療養者における胎児心拍数モニタリング体制を確立すべく機器を準備中である。準備でき次第、産婦人科関係者がいない施設に収容される妊婦も、地域周産期母子医療センターからの遠隔管理ができるようフローチャートも作成する予定である。日本産婦人科医会の妊産婦死亡症例検討評価委員会は、COVID-19 感染妊婦入院優先度判断スコアを作成し、表に示す項目で、合計6点になれば直ちに入院を要としている。これらを参考にすることで妊婦の状態を的確に把握して迅速な対応で新型コロナウイルス感染症妊婦が安心できる受け入れ体制が構築されていると表明できる。

それと並んで、発症予防・重症化予防のために妊婦および同居者に対するコロナワクチン接種が極めて重要である。妊婦の感染経路は約80%が家族からであり同居者全員（コロナワクチン接種対象者）の積極的接種が推奨されている。胎児に対する影響や妊孕能に対する影響な

どの風評被害でワクチンを躊躇する妊婦も出ているが、周産期に感染した場合には母体・胎児双方のリスクが大きく、メリット・デメリットを周知することでワクチン接種の動機付けを図りたい。母体の感染予防のみならず、コロナワクチンの接種により臍帯血や母乳への抗体移行が確認されており、胎児・新生児に抗体が移行することでも新生児の感染も予防される。

直接的な感染とは別に、妊娠中・産褥期には精神的に不安定となり、鬱状態となりやすい。妊産婦に対するケア事業が進められているものの新型コロナウイルス感染拡大による孤立化は産後うつを助長しており、対面抑制のなかでのサポート体制が必要である。

表 COVID-19感染妊婦入院優先度判断スコア

A. 基本情報		
1. 週数	28 週以上	3 点
	37 週以上	6 点
2. 肥満 (BMI>30)	2 点	
3. 基礎疾患	糖尿病 2 点, 慢性呼吸器疾患 2 点, 高血圧 2 点, その他の合併症 2 点	
4. ステロイド, 免疫抑制剤の使用	3 点	
B. 現在の状態		
5. 3 日以上 38℃以上の発熱	2 点	
6. 安静時の血中飽和度	<96% 2 点 <95% 6 点	
7. 重症感	2 点	
8. 無症状	-1 点	
9. ワクチン 2 回接種後 14 日経過	-1 点	
C. 検査結果		
10. CT/X 線の肺炎像	軽度 3 点, 高度 6 点	
11. 採血結果	異常 3 点	

合計 6 点以上で入院管理

[出典：母体安全への提言 2020 vol.11 日本産婦人科医会]

特 集

医療秘書 (3)

宮崎短期大学 現代ビジネス科 医療事務・医療秘書コース (2022年度よりメディカル秘書コース)

宮崎学園短期大学 現代ビジネス科 教授
准教授

くろ の のぶ こ
黒 野 伸 子
たけ むら じゅん こ
武 村 順 子



現代ビジネス科医療事務・医療秘書コースの武村と申します。コースの紹介をさせていただきます。

本コースは短期大学に設置されていることから、日本医師会認定医療秘書養成のカリキュラムの他、一般教育科目やビジネス系科目も履修できるという特徴があります。ご年配の会員の先生方でしたら「宮崎女子短期大学」の名称をご存じの方も多いのではないでしょうか。開校当時からの建学の精神である「礼節と勤労」を現代にマッチさせながら、現在では男女共学の短期大学となりました。

本コースは、2003年4月に現学科の前身となる人間文化学科にコースを設置し、14年目を迎えます。社会に送り出した卒業生数は261名であり、病院や診療所のあらゆる部署で活躍しており、現在23名の学生が在籍し、勉学に励んでおります。

ご存知の通り、さまざまな経緯を経て、2010年には医療スタッフ間の共同・連携が推進されることとなり、チーム医療に医療系事務職者が含まれることが明言されました（中央社会保険

医療協議会からの通達による）。このような社会のニーズに対応するため、本コースでは日本医師会のカリキュラムに則り、チーム医療に貢献でき幅広い分野にコミットメントできる医療秘書教育を行っております。さらに、医師の診療支援に関わる事務業務を補佐するクラークや医師事務作業補助者に対する社会の期待は大きくなっています。それらの要望に応えるべく、医療・福祉経営の専門教員と看護師資格を有する教員2名を常勤として配置しています。

このように教育の質を高める努力を行っていますが、この分野では臨床の場での学びを続ける必要があります。1960年代に最初の医療秘書が誕生したように、医師のパートナーとして本コースで学んだ学生に、活躍する機会を与えていただければ幸いです。必ず、先生方の助力となる職員に成長することと存じます。

現在のCOVID-19感染拡大を始めとした医業を取り巻く問題は山積しております。私達が教育や研究の中で培ってきた知識や情報も、宮崎県の医療向上のために役立たせたいと思っております。
(文責：武村順子)

お知らせ

令和3年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を2つの教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れております。

日本医師会認定「医療秘書」の資格を取得していると医師事務作業補助者になるための「32時間以上の基礎知識習得研修が免除」されるという大きなメリットがあります。

つきましては、本学院では皆様のお役に立てる質の高い医療秘書の養成に向けてより一層努力してまいり所存ですので、会員諸先生方におかれましては、今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、以下の2教育機関からご採用いただきますようお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

学 校 名	就職希望者数	連 絡 先
宮崎学園短期大学 (宮崎市)	8 名 (男0名, 女8名)	TEL 0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙1415 担当：黒野 伸子 武村 順子 田村 広美
都城コアカレッジ (都城市)	4 名 (男0名, 女4名)	TEL 0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当：吉原真由美 谷川真菜己

退任挨拶



宮崎大学医学部教授退任挨拶

宮崎大学医学部内科学講座 免疫感染病態学分野 おか やま あき ひこ
岡 山 昭 彦

本年3月末をもって宮崎大学を定年退職いたしました。宮崎県医師会の先生方には在任中大変お世話になり、誠にありがとうございました。

私は1974年に、出来立てほやほやの宮崎医科大学の1期生として入学いたしました。入学式は7月でしたが、大学の建物などはまだ全くできておらず、宮崎県医師会館をお借りしての挙行でありました。私は宮崎大宮高校の出身でしたので、医師会館の前は何回となく通っていたのですが、中に入ったのはそのときが初めてであり、地下の立派な講堂に感激したのを覚えています。医師会の先生方からは、宮崎県によりやく医学部ができたことを大変喜んでいただいたように思います。

入学してからは、上級生がいないため、何をするのも初めてという環境で、厳しい厳しい初代教授の先生方の試験をかいぐり、なんとか卒業することができました（当時はまさか自分が将来試験をする立場になるとは夢にも思っていないでした）。津田和矩先生が主催されていた第2内科に入局すると同時に大学院に進み、橘宣祥先生のご指導で、当時発見されたばかりで宮崎に多いHTLV-1感染症の研究することになりました。これがきっかけで1988年には米国留学の機会をいただきました。

その後、検査医学講座を経て、2006年より内科学講座免疫感染病態学分野、附属病院では膠原病感染症内科、検査部、感染制御部を担当し、約17年間教授として勤めさせていただきました。この間、新興再興感染症や院内感染対策の重要性が認識されるようになり、インフェク

ションコントロールドクター制度、抗菌薬適正使用、耐性菌対策や人獣共通感染症対策などの感染症の学問と診療の一体化が進みました。また生物学的製剤をはじめとした画期的な免疫学的治療が開発され、関節リウマチ・膠原病の診療は飛躍的に改善しました。このような進歩の流れの中、力不足の私にとって新しい講座づくりは簡単なことではありませんでしたが、若い医師が毎年のように入局してくれたことがなよりの励みになりました。また大学内外の皆様から温かなご支援をいただき、なんとかやって来られたと感じています。

宮崎県医師会の先生方には、大学病院や協力病院へたくさんの貴重な患者さんをご紹介いただき、医局員をさまざまな形でサポートしていただいたことを心より感謝いたします。私自身も宮崎県医師会において医師会雑誌の編集委員会や公衆衛生・感染症委員会のメンバーをさせていただきました。狭い見聞しかない私にとって、小児科など他科の先生方や開業されている先生方などさまざまな立場からのご意見を伺えたことは、たいへん貴重な機会であり勉強になりました。ありがとうございました。

4月よりは学会活動などは続けながら、宮崎県健康づくり協会で勤務させていただいております。宮崎県医師会の先生方におかれましては、今後も変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。先生方のますますのご活躍、そしてご自愛をお祈りし、拙文ですが、宮崎大学在職中のお礼と退職のご挨拶とさせていただきます。

就任挨拶



宮崎大学医学部教授就任挨拶

宮崎大学医学部内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 教授 かい きた こう いち
海 北 幸 一

この度はご挨拶の機会を与えていただきました宮崎県医師会の皆様に厚くお礼申し上げます。令和3年5月1日付けで、宮崎大学医学部内科学講座循環器・腎臓内科学分野教授を拝命いたしました。

宮崎大学内科学講座は、今回、講座改変にともない4つの講座に分かれることになりました。以前の旧第一内科は、循環器内科・腎臓内科・消化器内科から構成されておりましたが、今回の改変にともない消化器内科が独立し、循環器・腎臓内科学分野に改組いたしました。私は今年3月にご退官された北村和雄教授の後任として赴任いたしました。

私は宮崎県都城市（都城西高校卒）出身です。1991年に熊本大学を卒業後、熊本大学循環器内科に入局いたしました。研修医時代は、その当時、熊本大学循環器内科初代教授 泰江弘文先生の臨床診療の特色の一つであった冠攣縮性狭心症を含めた虚血性心疾患、不整脈疾患、心不全の診断、治療に関して研鑽を積み、その後、関連病院にて心臓カテーテル検査、冠動脈インターベンション（PCI）、ペースメーカ植え込み術などの循環器専門診療に従事してまいりました。

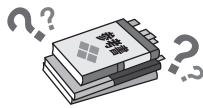
1994年から大学院に進学し、学位取得後、1998年から米国Vanderbilt大学メディカルセンターに留学しました。帰国後、2004年より循環器内科に帰局し、病棟長、医局長を歴任し、後進の指導を行ってまいりました。日本心血管インターベンション治療学会認定医としてPCIなどの冠動脈治療に従事し、冠攣縮性狭心症に対する侵襲的診断法であるアセチルコリン負荷

試験による病態診断、更には重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI）にも従事しました。

研究に関しては、熊本大学循環器内科第二代教授 小川久雄先生（現熊本大学学長）に師事し、1）血液凝固線溶系と炎症病態の側面からみた、急性冠症候群の発症機序や、循環器疾患に対する抗血栓療法に関する臨床研究、2）冠攣縮性狭心症の病態、薬物治療に関する臨床研究、および3）心筋梗塞後の組織修復メカニズムと治療戦略に関する基礎研究を行ってまいりました。今後の研究の方向性としては、引き続き、実臨床に還元できるようなトランスレーショナルリサーチや大規模臨床研究も手がけていければと考えております。

今後の私の教室運営の方針として、まずは学内の医学部生が宮崎にとどまれるような教室内の環境を構築すべく、人員確保に注力していきたいと思います。また、高度な医学知識・技量と活力を持った臨床医、そして医療と医学の進歩に貢献できる優秀な研究者を育成したいと思います。更に、関連病院の先生方からの患者紹介を積極的に受け入れ、適切な診断、治療の後に紹介元にお返しできる高度な診療体制と医療連携を確立し、教室の活性化と発展を図りたいと思います。

この度当科は、宮崎大学医学部内科学講座循環器・腎臓内科学分野として新たな門出を迎えることとなりました。今後、当該領域における宮崎の中心的役割を果たせるよう尽力してまいりたいと思いますので、今後ともご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



あなたできますか？

—令和2年度 医師国家試験問題より—

(解答は25ページ)

1. 急性期の群発頭痛の治療はどれか。2つ選べ。
 - a 純酸素吸入
 - b NSAID内服
 - c バルプロ酸内服
 - d トリプタン皮下注
 - e 三環系抗うつ薬内服
2. ヘモクロマトーシスで認められるのはどれか。2つ選べ。
 - a 肝硬変
 - b 高血圧
 - c 腎不全
 - d 糖尿病
 - e 皮膚色素脱失
3. 関節リウマチの関節外症状としてみられないのはどれか。
 - a 皮下結節
 - b 皮膚潰瘍
 - c 心外膜炎
 - d 間質性肺炎
 - e 後腹膜線維症
4. 統合失調症の一次妄想と考えられる患者の言葉はどれか。3つ選べ。
 - a 「(突然)自分は聖徳太子の子孫であるとわかった」
 - b 「(食事の途中で)誰かが自分の食事に毒を盛っている」
 - c 「(漠然と)何か恐ろしいことが起こりそうでひどく怖い」
 - d 「(電車の客が会話する様子を見て)自分の悪口を話している」
 - e 「(隣家を見て)あの玄関の形は明日自分が死ぬことを意味している」
5. 71歳の男性。尿失禁を主訴に来院した。2年前から夜間に尿意で目が覚めてトイレに行くようになり、3か月前からその頻度が増えてきた。高血圧症で内服治療中である。身長172cm、体重69kg。体温36.4℃。脈拍80/分、整。血圧140/80mmHg。下腹部に弾性軟の腫瘤を触知する。直腸指診で4cm大の弾性硬の前立腺を触知し、圧痛を認めない。腹部超音波検査で膀胱内に大量の尿貯留を認める。
治療として適切なものはどれか。
 - a 導尿
 - b 尿道ブジー
 - c 利尿薬投与
 - d β_3 刺激薬投与
 - e 抗コリン薬投与
6. 点滴投与を行う際、血中濃度のモニタリングが必要な薬剤はどれか。
 - a クリンダマイシン
 - b セファゾリン
 - c バンコマイシン
 - d ペニシリン G
 - e レボフロキサシン
7. 乳び胸の原因となるのはどれか。2つ選べ。
 - a 心不全
 - b 食道癌手術
 - c 細菌性胸膜炎
 - d 月経随伴性気胸
 - e 肺リンパ脈管筋腫症 (LAM)
8. 末梢静脈路ではなく末梢挿入中心静脈カテーテル (PICC) を選択すべき輸液製剤の組成はどれか。
 - a Na 154mEq/L
 - b K 20mEq/L
 - c Cl 35mEq/L
 - d Lactate 20mEq/L
 - e Glucose 20%
9. 高齢者の転倒リスクを高める薬剤はどれか。2つ選べ。
 - a 降圧薬
 - b 骨粗鬆症治療薬
 - c 尿酸排泄促進薬
 - d ビタミン D 製剤
 - e ベンゾジアゼピン系抗不安薬
10. 生後30分の男児。在胎40週0日、出生体重2,230g、Apgarスコア8点(1分)、8点(5分)で出生した。状態が安定していることを確認して早期母子接触を行った。その後、新生児室に入室した。入室時、低出生体重児のため小児科医の指示で次のバイタルサインを測定した。①体重35.5℃。②心拍数130/分。③血圧65/35mmHg。④呼吸数70/分。⑤下肢SpO₂90% (room air)。
下線部のうち新生児の基準値内のバイタルサインはどれか。2つ選べ。
 - a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④
 - e ⑤

エコー・リレー

(555回)

(南から北へ北から南へ)

63年前の小学校のクラス発表

宮崎市 南部病院 や ひろ かつ ぞう
八 尋 克 三

福岡市の高宮小学校を卒業しておよそ63年が過ぎた。当時の福岡市の教育方針で、3年生から卒業までの4年間にクラス替えがなかった。多感な時期の4年間に教室だけでなく放課後も草野球などで毎日のように一緒に過ごした。5年生から卒業まで担任となったS先生は背が高く緊張すると汗をかくと言っていつもハンカチを手にしていました。音楽と体育の授業は「とてもできない」と正直に公言され、他の先生が担当された。父兄参観は苦手だったようで「あがり症」のために授業中に手もみを繰り返すシャイな先生であった。このように生徒とありのままの姿で向き合う先生と4組の生徒たちとの組み合わせは運命的なほど良かった。20代の先生は新しい教育を模索されていたころであったが、その一つに各クラスの手に余る生徒に教室を開放し、教室内の自由行動を観察研究する試みがあった。これは「チャンバラ教室」として地元新聞にも紹介された。

当然、我々のクラスにも授業やホームルームなどで新しい取組みをされた。5年生のある日、授業の初めに「8人でグループを作り研究テーマを考えて2週間後に発表するように」と指示された。人気のある生徒などを囲んでいくつかのグループができ上がっていったが、引っ込み思案の私はどのグループにも入れないでただオロオロとしていたことを覚えている。結局、残った8名が先生の指示で班となった。余りものの集まりであったが、少しずつグループ内に意地に似た気持ちが生まれたように覚えている。「国会の仕組み」というテーマを考え、手分けして調べ、大きな模造紙に書いた。この班は日々成長していき、2週間後に「とてもよい発表だ」と先生に褒められた。小さな出来事であったが、自分を出せないでいた私が変わっていく大きな経験となった。誰の記憶にも残っていない63年ほど前の教室発表のテーマを覚えているのは、そのような理由からである。

[今回は、宮崎市の平部 久彬先生をお願いします]

耳が聴こえない

宮崎市 宮崎生協病院 う え の 満
上 野

耳が聴こえないのである。聴力レベルで言うと、60～70dB程度であるから、まったく聞こえないわけではないが、患者さんによっては何を言っているのか、まったく聞き取れない。「耳

が遠いので、大きな声で」とお願いしても、なかなか理解してもらえず、初めのころはイライラしてしまった。だが、自分が難聴という「障がい者」であるということを知覚して、気が付いた。大きな声で話せないというのも、本人の責任ではないのだ。

それで、まずは音響メーカーが作った「集音器」を購入。残念。講演会で演者の声量にボリュームを合わせると、後席の方のくしゃみが、飛び上がってしまうほどの衝撃音になってしまった。そこで、耳掛け型の補聴器を導入。素晴らしい。私の聴こえない周波数帯を分析し、音量をコンピューターで調整してくれるのである。衝撃音もカット！なにしろ値段も前者の20倍以上であるから、悪かろうはずはない。

さて、次の問題は聴診である。補聴器をつけたままでは、聴診器を使えない。今時であるから、両者をBluetoothでつないでなんてチョロいかもしれないが、爺さんには夢物語である。結局、耳穴に差し込んであるチューブをその都度前方にずらし、聴診器を装着。「この医者ちゃんと聴こえているのか」と、疑われるのは心外である。わずかな心雑音が気になりカルテを練ったら、前医がLevine II/VIと記載していた。保育園健診で号泣している心拍150以上の乳児も気になり、親子手帳を見たらVSDと記載があった。あらためて、昔ながらの「聴診器」の素晴らしさを再認識した。

[今回は、宮崎市の池田 俊郎先生をお願いします]

メディアの目



ガラミが結んだ宮崎と福岡の縁

西日本新聞 宮崎支局長
さ えき ひろ ゆき
佐 伯 浩 之

32年の記者生活のうち約11年を北九州地区で過ごした。私の記者としての「本籍地」は北九州である。

北九州・小倉の街は、江戸期に細川家が造ったことはご存じだろうか。細川家といえば熊本藩52万石で知られる。実は細川家は1600年代初めの約30年間、小倉藩主として豊前国を治め、現在の北九州市・小倉の礎を築いた。元首相の細川護熙氏は子孫に当たる。

細川家の驚きの史実が明らかになったのは2018年3月。細川家の史料を所蔵する「永青（えいせい）文庫」（東京）の古文書を調べた北九州市立自然史・歴史博物館の元学芸員、永尾正剛さん＝福岡県行橋市在住＝が、論文「細川小倉藩の『葡萄（ぶどう）酒』製造」にまとめた。古文書には、藩主細川忠利（1586～1641）が家臣に命じ、現在の福岡県みやこ町犀川大村地区に自生していたガラミでブドウ酒を造ったとする記述があった。同じ研究をしている熊本大も時代背景などから「薬酒」として造られたとする見解で一致している。

エビヅルはブドウ科の植物で、宮崎では「ガラブ」といわれるという。永尾氏の論文発表を受けて、地元の地域おこし団体「一般社団法人

豊前国小笠原協会」がブドウ酒再興に動き出した。

醸造には、宮崎県五ヶ瀬町の「五ヶ瀬ワイナリー」が一役買った。

協会関係者は、福岡県や大分県の酒造会社に醸造を依頼したが交渉は難航した。「売り物になるのか」「採算が取れない」。行く先々で断られた。「万策尽きたか」と諦めかけたとき、話を聞いたワイナリーが快く引き受けた。

ワイナリーの宮野恵支配人は「夢がある話だった。地域づくりのお手伝いできればと思った」と当時を振り返る。協会の活動は、ワイン醸造で五ヶ瀬町の活性化を目指すワイナリーの取組みとダブったからだ。宮野支配人はみやこ町を訪問しガラミを調査。精度などから「再興は可能だ」と判断し、醸造に踏み切った。ワイン造りの傍ら、試行錯誤を繰り返し、約2か月後にサンプル品の醸造に成功した。最終的に約1,600本を造り、その多くを関係者に配布した。協会の思いをワイナリーが実現した。

約400年前の史実を現代によみがえらせた両者は現在、苗を育てて数年後に収穫し商品化を目指す。双方の息の長い挑戦は続く。

ガラミが結んだ両者の縁は、互いの地域づくりにかける思いで結ばれている。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第1回 職員退職後の情報漏洩



Q.

当院を退職した看護師が、転職先の病院に当院の秘密情報を無断で漏洩していることが発覚しました。また、他の退職したスタッフが、当院の患者情報を持ち出したケースもありました。

職員は在職中には守秘義務があるため、当院の情報を漏洩することは許されないと思います。しかし、当院としては、退職した職員においても当院の情報を外部に漏洩することを防止したいと考えております。

この場合、どのような対策を行うべきでしょうか？

退職者による情報流出から、秘密情報を保護する手段として ① 不正競争防止法による保護と ② 秘密保持の合意による保護の2つが考えられます。

不正競争防止法とは、退職するスタッフが勤務先の営業秘密（ノウハウや顧客情報）を無断で持ち出し、転職先の職場で使用することを禁止する法律です。この法律は、① 秘密として管理されていること ② 有用な情報であること ③ 公然と知られていないことの3つの要件を満たす情報を、外部に持ち出すことを禁じています。院内でしか用いられていないノウハウや患者情報は、当該営業秘密に該当しますので、無断で漏洩した場合、不正競争防止法違反となります。

以前では、新規開業する医師が、以前の勤務先の患者に対して開業の挨拶の手紙を送るために患者情報を持ち出すことがよくありましたが、当該行為は法令違反となる可能性が高く、実際に医師が逮捕された事例もあります。ご相談の事例も、当該不正競争防止法違反の可能性が高いことから、至急情報の使用をやめるよう警告をすることがよいでしょう。

また、当該営業秘密に該当しない情報であっても、退職するスタッフとの間に院内の情報漏洩を禁止する秘密保持の合意書を作成していれば、情報漏洩を防ぐことができます。

そのため、このような情報漏洩問題を生じさせないためには、日頃から院内の情報管理を徹底するとともに、退職するスタッフに対して情報を漏洩させないように書面で誓約させるなどの情報管理が重要です。

(回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂)

A.



<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～9月～

令和3年8月30日～令和3年10月3日（第35週～第39週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核17例（男性5例・女性12例）：保健所別報告数は【図1】、病型別報告数は【表1】、年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：報告なし。

4類：○日本紅斑熱3例：日南保健所管内から報告があった。

年齢は60歳代が2例、70歳代が1例で、いずれもダニの刺し口が確認できた。主な症状として発熱、発疹、肝機能異常がみられた。

○レジオネラ症1例：高鍋保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で、病型は肺炎型であった。主な症状として発熱、腹痛、下痢、肺炎がみられた。

5類：○ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。40歳代の男性で、病型はB型であった。主な症状として、嘔吐、褐色尿、肝機能異常、黄疸がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で、血清群はB群であった。主な症状としてショック、腎不全、DIC、中枢神経症状がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で、主な症状として発熱、咳、肺炎、菌血症がみられ、ワクチン接種歴は不明であった。

○水痘（入院例）1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代で、主な症状として発熱、発疹がみられた。また、ワクチン接種歴は不明であった。

○梅毒9例（男性6例、女性3例）：宮崎市（8例）、小林（1例）保健所管内から報告があった。年齢は20歳代と30歳代が各3例、40歳代が2例、70歳代が1例であった。病型は早期顕症梅毒Ⅰ期が3例、早期顕症梅毒Ⅱ期が5例、無症状病原体保有者が1例であった。主な症状として初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹、丘疹性梅毒疹がみられた。

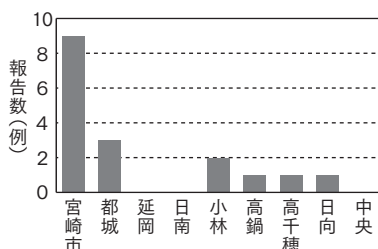


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	7
その他の結核 (頸部リンパ節結核, 結核性胸膜炎, 結核性心膜炎, 皮膚結核)	4
無症状病原体保有者	6

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	1
20歳代	1
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	2
60歳代	2
70歳代	3
80歳代	5
90歳代	1

■新型インフルエンザ等感染症

○新型コロナウイルス感染症796例：保健所別、年齢別報告数は【表3】のとおりであった。主な症状として発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、嗅覚・味覚障害等がみられた。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,412人（定点あたり69.7）で、前月の152%、例年の74%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性耳下腺炎であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

手足口病の報告数は777人（21.6）で前月の約4.5倍、例年の約5.6倍であった。延岡（54.0）、日向（49.8）、高鍋（41.8）保健所からの報告が多く、6ヵ月～2歳が全体の約9割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は427人（11.9）で前月の約1.6倍、例年の約1.5倍であった。延岡（57.3）、日向（25.5）、中央（16.0）保健所からの報告が多く、6ヵ月～2歳が全体の約8割を占めた。

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
細菌	Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	1
	Salmonella Albany (O8:z4,z24:-)	1
	EHEC (O91:HUT VT1)	1
	EPEC (OUT: HUT)	1
	アデノウイルス2型	1
ウイルス	単純ヘルペスウイルス1型	1
	エコーウイルス6型	1

表3 新型コロナウイルス感染症 年齢別報告数(例)

疾患名	居住地 保健所	報告数	年 齢 群									
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
新型コロナウイルス 感染症	宮崎市	440例	53	63	76	89	79	38	24	7	7	4
	都 城	77例	8	18	15	14	8	6	5	2	1	
	延 岡	59例	9	5	10	12	13	4	2		2	2
	日 南	49例	5	18	5	8	8	2	1	2		
	小 林	34例	9	4	4	4	5	3	2	3		
	高 鍋	50例	7	2	7	13	9	1	2	3	4	2
	日 向	66例	8	9	6	6	19	9	4	5		
	中 央	12例	2	2		2	3	3				
	県 外	9例		2	4	1	1	1				

■月報告対象疾患の発生動向〈2021年9月〉

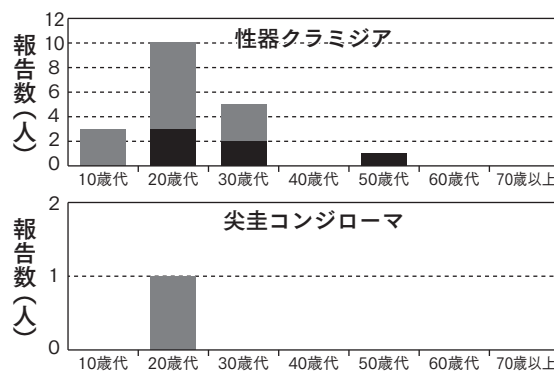
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人(2.7)で、前月比92%と減少した。また、昨年9月(2.9)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数19人(1.5)で、前月の約1.4倍、昨年9月の約0.8倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。(男性6人・女性13人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約0.4倍、昨年9月の約1.2倍であった。(男性2人・女性5人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、昨年9月の約0.3倍であった。(前月報告なし)(女性1人)
- 淋菌感染症：報告数8人(0.62)で前月及び昨年9月の約1.3倍であった。(男性6人・女性2人)



□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は14人(2.0)で、前月比140%と増加した。また、昨年9月(3.3)の61%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数13人(1.9)で、前月の約1.4倍、昨年9月の約0.6倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数1人(0.14)で、前月と同率であった。(昨年9月報告なし)

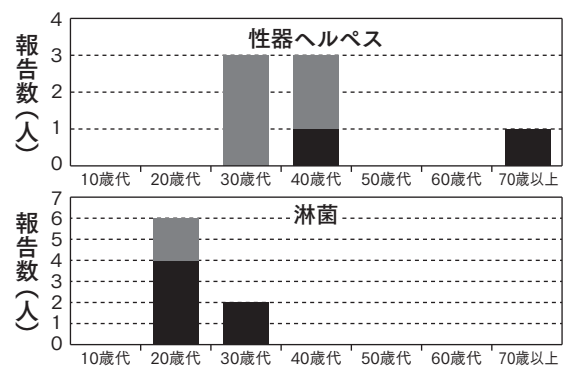
(宮崎県衛生環境研究所)

前月との比較

	2021年9月		2021年8月		例年との 比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	2	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	84	2.3	88	2.4	
咽頭結膜熱	55	1.5	39	1.1	
※溶レン菌咽頭炎	109	3.0	162	4.5	
感染性胃腸炎	787	21.9	618	17.2	
水 痘	26	0.7	17	0.5	
手足口病	777	21.6	173	4.8	★
伝染性紅斑	4	0.1	2	0.1	
突発性発しん	107	3.0	88	2.4	
ヘルパンギーナ	427	11.9	268	7.4	★
流行性耳下腺炎	14	0.4	36	1.0	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	19	3.2	26	4.3	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



各都市医師会だより

宮 崎 市 郡 医 師 会

新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている某病院の奮闘について紹介します。

その病院は、第2波のただ中、当初2床だけをコロナ感染症患者受け入れ病床として準備しましたが、昨年12月からの第3波による感染拡大の中、県からの要請を受け1月以降、41床を専用病床として使用することになりました。しかしながら、個々の患者の隔離のために当初の受け入れは最大6人のみ（後に10人）と効率は悪く、30床以上空床のまま一般疾病患者の入院制限をせざるを得ないため病棟運営には苦勞したようです。それでも5月と8月の4波、5波のたびに専用病床を確保して中等症までのコロナウイルス感染者の入院受け入れを行いました。緊急手術を行った患者のPCR陽性が術後に判明して担当医が自宅待機となったり、病棟スタッフの家族内感染での陽性が判明して緊張が走りましたが、いずれもクラスターには至らず胸をなでおろしたとのことでした。また、入院した患者が他院への転院を希望して真夜中に救急車を呼んだ事例もあったそうです。ご周知の如く、第4波までは高齢者の患者が大半でしたが、第5波からは青壮年の患者が大半となり、自己主張をして問題行動を取る患者が増加し、ただでさえ負担がかかる医療従事者のストレスは以前に増して強くなりました。市内の別の病院では狼藉を働き看護師に感染させた例もあり、他地区では宿泊療養中の男が伴侶の入院施設への入院を希望しての暴力沙汰もあったと聞きました。いずれにしても、今回のコロナ禍を奇貨として地域医療構想の見直しが必要と考えます。

（山村 善教）

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

昨年は新型コロナのため夜間急病センターの受診数も例年に比べ3～4割減と落ち込んでいましたが、最近では1割減程度に改善しつつあるところです。8月末時点で都城の65歳以上の2回ワクチン接種終了者割合は90%を超えました。デルタ株による第5波もようやくピークを迎えつつある印象です。若年者のワクチン接種を早く進めて集団免疫を獲得し、コロナ前の生活に戻りたいものだと思います。

（森山 拓造）

延 岡 市 医 師 会

本文作成中の9月下旬の本県でのコロナ感染者は3週間前の9月上旬の20%を下回る減少となり、第5波はピークアウトの様相を呈しています。ピーク時には医療機関を受診する患者はじめ、指定医療機関や宿泊療養施設の患者数もオーバーフロー寸前であったように感じられ

ました。しかしピークアウトした今でも夜間急病センターでは発熱患者は一向に減らず、一般患者と導線を分けて感染室などで感染対策に配慮したうえでの診療は続いており、当直医やスタッフのご負担にも心を痛めているところです。今後も次なるステージに対して万全の体制を整えて臨みたいところです。

（平野 雅弘）

日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

日向市東臼杵郡地域における介護認定審査会はかなり以前より一人1台PCが貸し出されペーパーレス審査でしたが、今年春からは事前審査資料もオンライン配布で6月からはリモートでの審査会参加となりました。雑談もできず寂しい思いをしておりましたところ、それまで宮崎精神保健センターで行われていた精神保健福祉手帳の審査会もWeb会議となってしまうしました。移動の時間や手間は省かれましたが、市

外の先生とお会いする機会がほとんどなくなり、孤立状態です（涙）。

（松岡 敬子）

児 湯 医 師 会

近年世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振っている中、より深刻な問題は地球温暖化ではないか？と思っている。加速度的に平均気温が上昇し、森林火災が頻発したり、各地で洪水が起きたり、北極の氷が減少してシロクマが溺れたりしている。原因は天然資源の大量消費や温室効果ガスの排出など、我々人間によるものである。今現在も世界中でマスクやビニール手袋が大量に消費され、リサイクルできずに廃棄されている。地球の堪忍袋の緒が切れるのは、はたして何年後であろうか？

（谷畠 満）

西 都 市 西 児 湯 医 師 会

ワクチン接種について当医師会では市の担当者と連絡を取り合い、通常診察内・休祭日などで実施できるようになり順調に行えています。また、感染リスクを考え、ICT委員会や病院連携の協議などZoomでの会議（場合により書面会議）が増えてきています。コロナ禍での会議の在り方など模索しながら今後も滞りなく活動ができるようにしていく予定です。11月29日にICTシステムを使った医療連携研修会（Web研修）を開催予定で、宮崎大学医学部名誉教授 荒木賢二様を講師としてお迎えする予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

（上山 裕史）

南 那 珂 医 師 会

新型コロナウイルス感染症がいまだ最大の懸念となっている昨今ですが、9月以降日本全域で感染者数の著明な減少がみられています。県南地域も一時学校関連で感染者増加がありましたが最近ほぼゼロが続いています。日南市では6～8月に高齢者に対して行っていた集団接

種を10月からは16歳以上対象に再開することとなりました。withコロナの生活はまだまだ続くと思われ、重症化を防ぐためにも接種を躊躇している方々に啓発していくとともにインフルエンザワクチン接種も始まり、院内感染対策に神経を使いながらの日々診療が続きます。

（福岡 周司）

西 諸 医 師 会

西諸医師会が運営しております小林准看護学校は今年度で創立63年を迎え、これまでに2,203名の准看護師を育成し西諸地域の医療機関へ輩出してまいりました。本校は全国でも唯一のシステムをとっており、私立高校との同時入学や授業料無料などの特徴がございます。しかしながら近年の少子化、当地域ヘレギュラーコースの看護学校を誘致できたこと、高等学校授業料無償化などの影響から令和4年度の卒業生を最後に閉校することが決まっております。これまでに地域の医療従事者、宮崎大学医学部、行政の皆様から賜りましたご支援ご協力に衷心より感謝申し上げます。残り1年あまりとはなりますが、最後まで変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

（園田 定彦）

西 臼 杵 郡 医 師 会

昨年6月の植松昌俊会長就任後、コロナ禍のために、全く会合を開かれないままに1年あまりが過ぎました。医師の異動がありましたが、昨年も含めて、院外の医師との顔合わせもできないままという事態となっております。また、在宅医療従事者のための研修事業に関しましても、住民公開講座は、昨年度は断念しましたが、今年度はなんとか開催したいと計画しています。郡内のコロナワクチン接種は、人口が少ない利点もあり順調に進みました。コロナウイルス患者の発生も少なく、過疎地域のおかげと恩恵を感じております。

（興梠 知子）

国公立病院だより

宮崎市総合発達支援センター



おおば けんいち
大庭 健一 センター所長

はじめに

発達障害（神経発達症）を中心に、発達に課題のあるお子さんの発達支援を行っています。評価と診断、訓練、心理士相談、初期の薬物療法、診断書作成、通園での集団療育

が主な業務となります。重心児者の生活を支援する機能も合わせ持っており、成人の重心の方の通所があります。

診療部、通園部、相談部（地域生活支援部）があり、標榜科は小児科、児童精神科、耳鼻科、眼科、整形外科で、医師は常勤2名、非常勤7名です。

1日あたりのキャパは、初診が1～2名、再診30名、処方再診10名、訓練50名、心理相談10名、その稼働率は8～9割です。通園部は、療育通園40名、重心通所20名となっています。

宮崎市が設立し、平成15年にオープン。今年で18年目になります。この間、子どもを取り巻く状況は変化し、国の施策も大きく変わりました。発達支援のニーズの変化に合わせて対応をすすめています。課題も多くあります。

コロナ禍での運営

深刻な影響はないのですが、陽性者や濃厚接触者の利用があり、閉鎖、部分閉鎖、職員の在宅指示を行っています。来院する家族を制限し、待合の玩具や絵本もなくしています。発達を支援する施設としては寂しい待合室です。冊子が出るころには終息に近づいていることを願っています。

コロナ禍は、乳幼児の定期健診や市が実施する発達教室に影響しました。延期や縮小が相次ぎ、発達に困りのあるお子さんへの介入の遅れが心配されます。

幸い、宮崎市は、乳幼児健診検討会の会長のどんぐりこども診療所の系数先生や保健センターの保健師さんの対応と工夫により、コロナの影響が少なくなるようにすすめてもらっています。

待機の問題

当院の課題の一つが待機です。現在、初診までに5か月を要しています。

古典的な自閉症が100人に1人、概念を広げた自閉スペクトラム症を含む発達障害が10人に1人とされます。宮崎市で年間3,500人の出生があるため、発達特性がある子どもが年間350人生まれていることになります。

当院の年間初診数は350名です。本来であればこれで足りるはずですが、宮崎市周辺の市町村からの受診も受け入れていることもあって、待機がなかなか解消されません。

子どもの発達特性に対する家族や集団の困りには大きな差があり、介入の時期も異なります。少し前から、初診前の対応を始めました。初診希望があると、まず保健師や当院の相談部に対応を依頼し、当院にも来院していただき、心理士による実態把握と初期相談を行います。その後、最適な時期に医療的判断と介入が行えるよう、初診を設定します。この「トリアージ」がうまく機能できるよう、健診担当の先生方や保健師さんとの連携を密にしていきたいと考えています。

拡張の夢

市郡医師会病院と歯科福祉センターが生目の杜に移転しました。当初の構想では、当院は移転せず、残った施設を活用させていただくことで、発達支援の拠点としての機能を高めていくことを考えていました。

当院はスペースの問題に直面しています。診察室や訓練室が不足しており、通園部には食事室がなく、活動の部屋で給食を提供しています。場所を多用途に使用することは、自閉症のお子さんが混乱する要因となっていました。

残存施設を活用できれば、更に子どもにかかわる部署を集め、児童相談所機能も有した「宮崎市こども未来センター」を作る構想まで勝手に思い描いていましたが、妄想に終わりました。

ただ歯科福祉センターは譲っていただけることになりました。当院を運営する宮崎市社会福祉事業団と相談部が利用を予定しています。当院のような施設は、今後、相談と外部支援機能がより求められるため、残存施設を利用させていただくことで機能を広げられたらと考えています。

発達支援のニーズ変化と国の施策

国は20年以上前に、人口30万～40万に1か所、発達支援のためのセンターを設置する施策を出しました。当院もその構想に応えるように設置されました。

10年ほど前から、毎日の生活を実際に支えてほしい、両親が働ける環境を作ってほしいとのニーズが高まりました。こうした声に応えるために小規模施設の設置が検討されました。未就学児を支援する児童発達支援事業所、就学後を支援する放課後児童デイサービス、園や学校で子どもを直接支援する保育所等訪問支援が検討され、事業化されました。これがデパート型支援からコンビニ型支援への移行と呼ばれるものになります。

この施策は見事にあたりました。宮崎市で就学前にかかわる発達支援事業所の定員は200名を超えています。当院の通園定員が40名ですので、あと4か所、同規模施設ができたことになります。放課後デイサービスは、更に多くの施設ができています。

この事業には多くの民間事業者が参入しています。当院には地域の発達支援の質の担保という役割が、新しく求められています。

発達支援の新たな課題

平成は発達障害の時代といわれました。発達障害が法律に記載され、理解がすすみました。更にもう一步深く、子どもを理解する必要が出てきています。

児童精神科医は、令和をトラウマの時代と呼んでいます。ただし、発達障害からトラウマの時代が変わったのではなく、発達障害とトラウマ（育ちの問題、不適切養育、虐待）のかけ算でとらえる時代に移行しているとのことようです。

当院でも、これまで積み上げてきた発達障害の対応技術だけでは太刀打ちできないケースが紹介されてくるが増えました。

宮崎市の保健センター、子育て支援課、児童相談所の力もお借りしながら、こうした面にも対応できる力を高め、子どもがよりよく生きていけるような発達支援を心がけたいと思います。

おわりに

子どもの発達支援や重心児者の生活支援に、医療が果たす役割は決して小さいものではありません。医療と少しかけ離れたところも多い分野ですが、睡眠や食事、排泄など、医療的な知識が役に立ちます。もちろん診断は医療行為になります。その一方でさまざまな職種の方々、特に福祉の方との連携を必要としています。健診や子どもにかかわる先生方や保健師さん、多くの福祉施設のスタッフの皆さんの、これまでのご協力に感謝しています。これからもどうかよろしくお願いいたします。



宮崎大学医学部だより

宮崎大学医学部附属病院 －薬剤部－



いけだ りゅうじ
池田 龍二 教授

団塊の世代が75歳となる2025年には、75歳以上の人口が全人口の18%になり、人口減少に歯止めがかからないまま、2065年には65歳以上の人口が全人口の約38%になると

の推計が出ています。これは、少子高齢化が進行することを意味しており、人口減にともなう医療人の不足を視野に入れたうえで、現在、医療従事者の働き方改革が進められているところだと思います。

国は、2040年を展望した医療体制の改革を目指し、その中で、どこにいても必要な医療を最適形で実施できる社会に、また、医師・医療従事者の働き方改革でより質が高く安全で効果的な医療を展開できる社会の構築を進めています。

質が高く安全で効果的な医療の実践に欠かせないのがチーム医療であるかと思っています。厚生労働省の「チーム医療の推進に関する検討会報告書」（2010年3月）によれば、チーム医療とは、「医療に従事する多種多様な医療スタッフが、各々の高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供すること」と定義されています。現在、多くの病院において、緩和ケア、感染対策、栄養サポートなどの分野でチーム医療の一員として薬剤師が活動していますが、今後、更に多くの分野で、薬剤師が薬の専門家としてチーム医療に

参画できるような体制の構築が必要になると思います。そのためには、それぞれの分野における専門的な知識が必要でありますので、チーム医療に貢献できるような専門性を持った薬剤師の育成が重要となります。当院におきましても、医療薬学指導薬剤師、医療薬学専門薬剤師、がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、精神科専門薬剤師、抗菌化学療法認定薬剤師、漢方薬・生薬認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師、栄養サポートチーム専門療法士、公認スポーツファーマシストなど認定・専門を有した薬剤師がさまざまな分野で専門性を発揮して業務を遂行しています。

また、今後ますます業務移管や共同化（タスクシフティング・タスクシェアリング）が加速することが期待されます。当院におきましても、薬剤師主導による抗がん薬レジメンの作成、禁忌・適応外処方の把握とモニタリング、NICUでのミキシング支援（一部）、外来患者の手術前休薬確認（泌尿器科）、土日・祝日の抗がん薬ミキシング、時間外の処方代行入力支援などを展開してきました。また、各病棟をはじめ、医療安全管理部、感染制御部、救命救急センター、手術部にも薬剤師を配置し医薬品に関する医療安全に努めています。

近年、低分子有機化合物および抗体医薬などの分子標的治療薬の開発が進み、医療を取り巻く環境が急速に高度化・多様化する中で、薬剤師の役割も変化しています。私たちは、薬の専門家として、患者状況を把握のうえ、医師と協議しながら適切な対処方法を判断し、患者に提供できる、また、チーム医療の中で医師の負担軽減を行いながら患者に安全で有効な薬物療法を提供できる、より専門性の高い人材育成に取り組んでいます。

部会だより

園 医 部 会

たかやま しゅうじ
高山 修二 部会長

令和2年度より橋口兼英会長から部会長を引き継ぎました高山です。よろしく願いいたします。宮崎県医師会園医部会は、保育園（所）・幼稚園などの乳幼児保健衛生の向上発展並びに当該

園全職種との連携・研修および相互の協力を図ることを目的に、平成11年に発足し、現在169名（10月末現在）の保育園・幼稚園の園医で構成されています。

園医部会は毎年6月に理事会を開催し、前年度の事業報告・歳入歳出決算・次年度の歳入歳出予算案を承認していただいています。理事会での主な議題は総会・研修会で行われる講演会の講師選定です。今までは保育園・幼稚園のスタッフにも多数出席してもらえよう分かりやすい内容で、土曜日の午後に県医師会館で開催し好評を博していました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大で皆が集うことがかなわなくなりました。令和2年度、3年度はやむを得ず対象を医師に限定してWeb開催となっています。

令和2年度園医部会総会・研修会は令和2年10月1日に医師52名の参加で行われました。特別講演はつむら診療所副院長で久留米大学小児科非常勤講師の津村直幹先生に「予防接種最新情報2020～新しく定期接種となるロタウイルスワクチンとワクチンの接種間隔の変更も含めて～」と題してお話しいただきました。その中から印象に残ったいくつかを列記します。
ロタウイルス感染症の基本（実効）再生産指数（一人の感染者が何人に感染させるかを表す数字）は感染力の強いといわれる麻しんが16～21なのに対しロタは28～191とかなり強力。

ロタワクチンの入院および救急外来受診抑制効果は7歳まで確認されており、有効性は高い。

*インフルエンザワクチンは有効で、インフルエンザ死の多くはワクチン未接種児。この研究結果を受け、米国小児科学会は「生後6か月以上のすべての小児に毎年インフルエンザの予防接種を推奨している現行の勧告を支持するもの」としている。*妊婦へのインフルエンザワクチン接種は、強く推奨される。*妊婦へのインフルエンザワクチンは、生後6か月までの乳児インフルエンザを予防する。

令和3年度園医部会総会・研修会は令和3年10月11日に医師52名の参加で行われました。特別講演は宮崎大学医学部感覚運動医学講座眼科学分野の中馬秀樹准教授に「小児眼科疾患の診断と治療」と題してお話しいただきました。以下講演内容の一部です。*弱視は1/50人の頻度。3歳児健診で屈折検査をしている自治体は全国では28.4%。宮崎県は46.2%と高い方で検査方法としてSpot Vision Screener（スクリーニング完了率は99.7～100%、発達障害児でも91%と高い）を使用している市町村が多い。*就学前健診で見つけても視力回復は望めないので3歳児健診は大切。日本眼科医会は今年『3歳児健診における視覚検査マニュアル』を作成。一読を。*令和4年度母子保健対策強化事業で屈折検査機器購入代金の半額補助が行われる予定。ぜひ利用して導入を。*病診連携で宮崎モデルを提唱し、宮崎県のどこでも小児眼科診療ができるマニュアルを作成。

次年度は、園の先生方も加えて県医師会館で開催できるようになっていることを期待したいと思います。今後とも園医部会をよろしく願います。

「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和4年1, 2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

- 題 材** 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句など何でも結構です。
本文に関連した写真・イラストなど(1枚程度, カラー印刷はできません)
- 字 数** 800字以内(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください)
- 締 切** 令和3年12月6日(月)
- 宛 先** 宮崎県医師会広報委員会
- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
 - ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
 - ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
 - ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
 - ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
 - ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館など)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便など)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル、ご氏名を明記のうえお送りください。

九州医師会連合会第392回常任委員会

と き 令和3年8月7日(土)

ところ 九州各県医師会 (TV会議)

1 開 会

2 挨 拶

1) 九州医師会連合会長

3 協 議

1) 沖縄県医師会顧問 (前沖縄県医師会長・元日本医師会理事、全国医師国民健康保険組合連合会会長) 宮城信雄先生のご逝去について (沖縄)

7月17日(土)に沖縄県宮城顧問が急逝され、九医連の慶弔規程に基づき、弔電・供花・香典を行った旨の報告が行われた。

2) 九州医師会連合会事務引継ぎについて (沖縄)

7月28日(水)にTV会議を用いて、公印・帳簿・繰越金などを確認し、宮崎県と事務引継ぎが完了した旨の報告が行われた。

3) その他

4 協 議

1) 九州医師会連合会第395回常任委員会並びに第122回臨時委員総会 (11月12日(金)那覇市) の開催について (沖縄)

常任委員会、臨時委員総会、合同懇親会をいずれも沖縄ハーバービューホテルで開催することが承認された。

2) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会 (11月13日(土)那覇市) の開催について (沖縄)

例年どおり日医中川会長に中央情勢報告をお願いし、事前に九州各県から要望事項や質問事項をとりまとめ、講演の中で回答いただくよう依頼することが承認された。

3) その他

5 その他

意見交換

新型コロナウイルス感染症に関する地域医療体制とワクチン接種等について

九州各県における入院および宿泊施設の確保状況並びに臨時医療施設の設置状況などの報告が行われ、福岡県の自宅療養者に対する対応と今後の若者のワクチン接種拡大に向けた取組みなどを中心に意見交換が行われた。

6 閉 会

出席者－河野会長、竹崎事務局長、
久永課長

あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a, d	a, d	e	a, c, e	a	c	b, e	e	a, e	b, c

九州医師会連合会第393回常任委員会

と き 令和3年8月28日(土)

ところ 九州各県医師会 (TV会議)

1 開 会

2 挨 拶

1) 九州医師会連合会長 (沖縄県安里会長)

(要旨) 8月以降、新型コロナウイルスの感染が拡大、デルタ株が猛威を振るっている。沖縄県でも爆発的な感染拡大で、病床利用率、自宅療養者が急増、各県でも連日過去最多の感染者を発表するなど、九州各県の会長の先生方もその対応にご苦労されていることと推察する。本日は定例委員総会に提出する報告および議案をご審議いただきたい。

3 協 議

1) 令和2年度九州医師会連合会庶務及び事業報告について (宮崎)

宮崎県濱田政雄委員から、令和2年7月1日(水)から3年6月30日(水)に実施した九医連諸会議および九医学総会・医学会並びに宣言決議などの取扱いについて報告が行われた。

2) 元東京都医師会長・福井光壽先生のご逝去に伴う弔慰について (沖縄)

8月12日(木)に福井光壽先生が逝去され、九医連から弔電を送った旨の報告が行われた。

3) その他

4 議 事

第1号議案 令和2年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

宮崎県山村善教委員から、歳入合計59,960,380円、歳出合計9,373,595円、差引50,586,785円を沖縄県に繰り越すこと、監査については書面で了承を得ているなどの

説明が行われ原案どおり承認された。

第2号議案 令和3年度九州医師会連合会事業計画に関する件

連絡協調並びに定例諸会議の開催に関する事業計画などの説明が行われ原案どおり承認された。

第3号議案 令和3年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

第4号議案 令和3年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

第3号議案と4号議案は一括審議され、前年度同額の会員一人年額2,000円(会員数24,249名)の会費とすることおよび歳入歳出合計100,185,785円からなる予算の説明が行われ原案どおり承認された。

第5号議案 令和3年度九州医師会連合会監事(2名)の選定に関する件

慣例で担当県の隣県から、鹿児島県野村秀洋委員、熊本県坂本不出夫委員を監事に選定することが提案され原案どおり承認された。

第6号議案 令和3年度第121回九州医師会医学会事業計画に関する件

現地およびWebを含めたハイブリット開催とし、11月12日(金)に前日諸会議、13日(土)に役員合同協議会、総会・医学会、14日(日)に分科会を計画している旨の説明が行われ原案どおり承認された。

第7号議案 令和3年度第121回九州医師会医学会会費賦課に関する件

前年度同額の会員一人年額2,000円(会員数24,249名)の会費とすることの説明が行われ原案どおり承認された。

以上、第1号議案から第7号議案は書面で開催される定例委員総会に上程することが重ねて承認された。

第8号議案 次回第122回（令和4年度）九州医師会医学会開催担当県の決定並びに次々回第123回（令和5年度）同学会開催担当県の内定に関する件

九医連（九州医学会）医学会施行細則などをふまえ、次回担当県を大分県に決定、次々回担当県を長崎県に内定することが承認された。

5 協 議

1）九州医師会連合会第394回常任委員会並びに第1回各種協議会（10月2日（土））の開催方法について（沖縄）

新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大をふまえ、当初の計画を変更し、開催方法を九州各県医師会などを結ぶTV会議に変更することが承認された。

6 その他

1）中四九州地区医師会看護学校協議会の特別会員について（長崎）

各県独自若しくは九州各県足並みを揃えるのか、また九医連として対応するのか、担当県の沖縄県が案を作成し九州各県に照会することとなった。

2）第121回九州医師会総会・医学会について（沖縄）

沖縄県安里会長から、新型コロナウイルス感染症の感染急拡大により開催方法の見直しも検討せざるを得ない状況にあるとの説明が行われた。

3）新型コロナウイルス感染症の自宅療養者への対応について（長崎）

福岡県の対応を中心に意見交換が行われた。

7 閉 会

出席者－河野会長、濱田副会長、山村副会長、竹崎事務局長、久永・松本課長

10月のベストセラー（宮崎県）

集計：2021年10月1日～10月26日

1 吉原裏同心	佐 伯 泰 英	光 文 社
2 民 王	池 井 戸 潤	角 川 書 店
3 透明な螺旋	東 野 圭 吾	文 藝 春 秋
4 聖 域	コムドットやまと	角 川 書 店
5 元彼の遺言状	新 川 帆 立	宝 島 社
6 変な家	雨 穴	飛 鳥 新 社
7 ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー-2	ブレイディみかこ	新 潮 社
8 倒産続きの彼女	新 川 帆 立	宝 島 社
9 護られなかった者たちへ	中 山 七 里	宝 島 社
10 どうしても頑張れない人たち	宮 口 幸 治	新 潮 社

全国医師会医療秘書学院連絡協議会 第71回定例総会・令和3年度第1回運営委員会 【Web会議】

と き 令和3年9月11日(土)

ところ 宮崎県医師会5階会議室

令和3年度の全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会・運営委員会が、香川県医師会の担当で昨年に引き続きオンラインにて開催された。

協議会会長挨拶 香川県医師会長 久米川 啓

本協議会は、武見太郎元日本医師会長の提唱によって誕生し、日医認定医療秘書養成校の全国組織として昭和40年に発足した、歴史と伝統のある協議会である。現在は14県15校で運営されているが、今後も加入校の増加に向けて期待が高まる。

現在、厚生労働省において「医師の働き方改革」が進められている。2024年4月から勤務医の時間外労働上限規制の適用も迫り、医師の負担軽減を目的としたタスクシフティングが最重要課題となっている。

2020年度診療報酬改定では医師事務作業補助体制加算の対象病床の範囲拡大と点数の引き上げが行われた。医療現場において事務を効率的かつ迅速、正確に補助し、医師が医療に専念できる環境を整えることができる医療秘書の有用性が認められたものと感じている。

本協議会としても、日医認定医療秘書という職種が一層活躍できる場を設けられるよう、今後も日本医師会主導のもと、医療を担う専門職としての医療秘書の認知度向上に努めるとともに、協議会として日医認定医療秘書の養成に取り組む所存である。

来賓祝辞 日本医師会常任理事 釜范 敏

来年2月6日(日)に第42回日本医師会医療秘書認定試験の実施を予定している。宮城県の板橋委員長をはじめとする委員の先生方には試験の円滑な実施に向けて大変尽力をいただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大は地域の医療提供体制に大きな危機をもたらし、緊急事態宣言も4度目の発出となる。各県医師会の先生方には通常の診療に加え、コロナ患者の診療や発熱外来、ワクチン接種やPCR検査の実施、自宅や宿泊療養者、高齢者施設等への対応など大変頭の下がる思いである。

日本医師会としても、医療界を挙げて引き続き必要な支援策を国に求めていく。また、学校関係者の皆様には、昨年に引き続き、対面とオンラインによる授業の実施、実習施設の確保などでご苦勞いただいてることと存じ上げる。更に、生徒数の減少や就職先の開拓などコロナ禍でより一層厳しい状況であることと拝察する。

今後とも、各県医師会と学校とが連携を密にし、認定を取られた卒業生が知識を活かして地域に貢献できるよう、更なる尽力を賜ることをお願い申し上げます。

報 告

1 令和2年度会務報告

2 常任委員会

3 日本医師会医療秘書認定試験委員会について 第42回日本医師会医療秘書認定試験について

て、来年2月6日(日)に各医師会の医療秘書学院で実施。試験科目は従来と同じ。昨年3月に改訂版が発行された「体の構造と機能」については、第一版、第二版どちらにも共通する内容で出題する。合格発表は2月25日(金)。

4 各学院の現況調査結果

5 医療保険請求事務実技試験委員会について
総会の前にWeb会議で行われた令和3年度医療保険請求事務実技試験委員会では、具体的な試験問題の内容について検討を行い、承認を得た。試験日については、統一することは難しいと判断し、5日間程度の期間で実施する。

6 医療保険請求事務実技試験の外部委託について

3月の常任委員会の書面決議で、委託業者を株式会社ミックスから株式会社ソラストへ変更することが決定した。試験問題のレベルが適切か、出題ミスなどの発生がないか様子を見るため、今年度は香川県が個別で契約する。次年度以降の契約については、試験終了後、評価・検討をするためアンケートを実施し、アンケート結果をもとに来年3月に開催される運営・常任委員会で協議する。

7 その他

協 議

1 令和2年度収支決算

原案どおり承認された。

2 令和3年度事業計画（案）

原案どおり承認された。

3 令和3年度会費の賦課・徴収

原案どおり承認された。

4 令和3年度収支予算（案）

原案どおり承認された。

5 次期当番県の決定について

次期当番県は秋田県に決定した。

6 その他

総 括 日本医師会常任理事 釜 薙 敏

若年人口の減少から入学生の確保がなかなか難しいとのご指摘をいただいた。中でも、日本医師会認定医療秘書の仕組みについて、医療機関や採用をする立場の方にもっと知ってもらいたいとの意見が多く、日本医師会が力を尽くして周知を図っていかねばならない。

次期当番県医師会長挨拶

秋田県医師会長 小玉 弘之

来年の定例総会は、9月に開催予定である。

閉 会 香川県医師会 副会長 若林 久男

出席者－池井常任理事、牧野課長、桑山主事、黒野・武村様（宮崎学園短期大学）、吉原・谷川様（都城コアカレッジ）

お知らせ

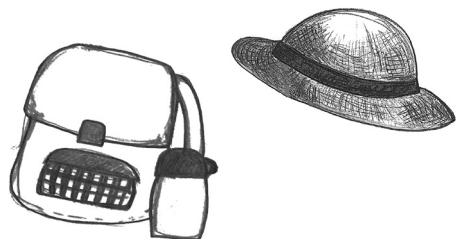
カット、イラストの募集

日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101
genko@miyazaki.med.or.jp



日医インターネットニュースから

■感染対策補助は最大10万円

— 厚労省 —

田村憲久厚生労働相は9月28日の閣議後の会見で、9月末までの時限措置となっている診療報酬の感染対策実施に関する特例措置に代わる新たな補助金や診療報酬の概要を発表した。

感染防止対策に関する補助金は、病院・有床診療所で10万円、無床診療所で8万円を上限に、10～12月のかかり増し経費を国が直接交付する。診療報酬では、新型コロナウイルス感染症の自宅・宿泊療養者への緊急往診で、中和抗体薬「ロナプリーブ」を使用した場合は救急医療管理加算1（950点）の5倍の4750点、その他の場合は3倍の2850点とすることなどが柱だ。

補助金に関しては、訪問看護事業者や助産所、薬局については6万円、介護報酬でかかり増し経費分として0.1%が上乗せ算定されていた全介護施設・事業所を対象に平均的な規模の介護施設で6万円を上限に補助する。会見で田村厚労相は「（補助金の申請に関する）手続きが煩雑になるといけないので、できる限り簡素な形にする」と述べた。

診療報酬に関しては、緊急往診に関する特例のほか、新型コロナ患者の外来診療に関して、ロナプリーブを投与した場合は現行の救急医療管理加算1を、3倍の2850点に引き上げる。同剤の投与がない場合でも救急医療管理加算1を算定できるようにする。

●院内トリアージ実施料、550点に

新型コロナ疑いのある発熱患者に外来で対応した場合の特例として算定できるようにしていた院内トリアージ実施料300点を550点に引き上げる。診療・検査医療機関に限定し、自治体のホームページで医療機関名が公表されていることを要件とする。来年3月末までの時限措置となる。自宅・宿泊療養者への緊急の訪問看護に関しては現行（520点）の3倍の1560点に引き上げる。小児外来に関する診療報酬の特例は点数を半減とし、来年3月末まで継続する。

(令和3年10月1日)

■「勧奨再開妨げる要素ない」検討を継続

— 厚労省 —

厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会と薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会は10月1日、合同会議を開いた。8年以上にわたり定期接種の積極的勧奨の差し控えが続くHPVワクチンについて議論し、現状では「積極的勧奨の再開を妨げる要素はない」とする見解を取りまとめた。

今後は積極的勧奨を再開するかを判断するための論点をあらためて提示し、検討を継続する見通し。

厚生労働省は、HPVワクチンを巡るこれまでの経緯を整理し、▽HPVワクチンのリスクとベネフィットの整理▽HPVワクチン接種後に生じた症状に苦しんでいる人に寄り添った支援▽HPVワクチンの安全性・有効性等に関する情報提供—の3点を課題として提示。HPVワクチン接種後に生じた症状とワクチン接種との関連性が明らかになっていないことや、HPVワクチンを説明するリーフレットの個別送付が進んでいる現状を説明した。

会合では、HPVワクチンと接種後の症状の関連性についてエビデンスは認められていないとする一方、有効性については海外の大規模調査で子宮頸がんの予防効果も示されてきていると評価。接種者が増加した場合に備え、接種後に症状が生じた人が受診する協力医療機関をさらに整備する必要があるとし、受診した場合に対応できる体制があるかも含めて検討する方針を確認した。

情報提供に関しては、積極的勧奨を控える方針を変更する場合、ワクチン接種のリスクとベネフィット、日本での接種状況といった情報をより多く盛り込んでリーフレットを改訂することも選択肢に挙げた。

また、リーフレット以外の方法による啓発も必要としたほか、勧奨を控えてワクチンを未接種の世代への対応も求められているとした。

濱田篤郎委員（東京医科大病院渡航者医療セ

ンター特任教授)は、「積極的勧奨を再開する時期にきていると思う」との意見を表明する一方、副反応部会は副反応に関する判断を行う場であって、積極的勧奨の再開を判断するのはワクチン分科会ではないかと問題を提起した。

長谷川秀樹委員(国立感染症研究所インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター長)も「積極的勧奨を決める会議体に対して、副反応に関する意見を述べるのが適切」と賛同した。こうした意見を踏まえ、厚労省は今後の議論の進め方について検討する。

(令和3年10月5日)

■コロナ対策4本柱に「全力で協力」 — 岸田内閣発足で中川会長 —

中川俊男会長は10月6日の会見で、4日に発足した岸田文雄内閣への期待を示すメッセージを発表した。岸田首相が衆院厚生労働委員長や、自民党の人生100年時代戦略本部長などを務めた経歴に触れ、「社会保障政策に大変ご理解がある。日医をはじめとする医療界としても引き続き、お力添えをお願いしたい」と述べた。岸田首相が新型コロナウイルス感染症対策で掲げた4本柱の実現に「全力で協力していく」とし、引き続き必要な支援を行うよう求めている考えを示した。

岸田首相が自民党総裁選で掲げたのは、▽医療難民ゼロ▽ステイホーム可能な経済対策▽電子的ワクチン接種証明の活用と検査の無料化・拡充▽感染症有事対応の抜本的強化—の4本柱。さらに首相就任会見では、医療従事者らの所得向上に向けて公的価格の在り方を抜本的に見直す」と表明しており、「まさに日医の考える方向性と同じだ」と賛同した。

後藤茂之厚生労働相については、衆院厚生労働委員長を務めたことなどを挙げ、「厚生労働行政に精通されているとともに、税制にも造詣が深く、かねてお世話になっている」と評価し、「医療の安全・安心をしっかりと守っていただけるものと大変心強く思っている」とした。堀内詔子ワクチン接種推進担当相には「喫緊の課題である医療従事者への3回目のワクチン接種を円滑に行っていただけることを期待している」と述べた。

他の医療政策に関係する閣僚一人一人にもメッセージを送ったほか、菅義偉前首相と菅内閣の閣僚にも感謝の言葉を述べた。

(令和3年10月8日)

■感染性胃腸炎、定点当たり1.87で減少に — 感染症週報第38週 —

国立感染症研究所は10月8日、感染症週報第38週(9月20~26日)を公表した。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は1.87で前週から減少に転じた。報告数は5916例。都道府県別の上位3位は、徳島(6.61)、大分(4.89)、福岡(3.73)。過去5年間の同時期と比べると少ない状況が継続している。

【最近の注目疾患】

●手足口病(小児科定点報告疾患): 報告数3109例

定点当たりの報告数は0.98で、増加傾向が続いている。都道府県別の上位3位は、大分(8.44)、福岡(8.08)、熊本(5.58)。

●インフルエンザ: 報告数3例

定点当たりの報告数は0.00だが2週連続で増加した。

(令和3年10月12日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

医師国保組合だより

～保健事業のご案内～

今年度の日曜健診には12月の日程が加わっています。ぜひご利用ください。

※実施期間：令和4年3月末日まで ※請求期限：令和4年5月20日まで

1 健康診断（特定健診）・特定保健指導 ※無料で受診できます

健康診断（特定健診）

◆対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者 ※配偶者は75歳の誕生日前日まで

上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方を含む）

※年度中に40歳になる方～74歳の方（75歳になる方は誕生日の前日まで）は、特定健診対象者です。

◆日曜日の集団健診日程

<宮崎市郡医師会病院 健診センター>

今年度の日曜健診には12月の日程が加わっています！ぜひご予約ください。

年	月 日	集 団 健 診 (定員各30名)
令和3年	11月21日	○
	12月12日	○
令和4年	1月23日	○
	2月13日	○
	3月6日	○

(令和3年10月20日現在) ○：予約可，×：満員

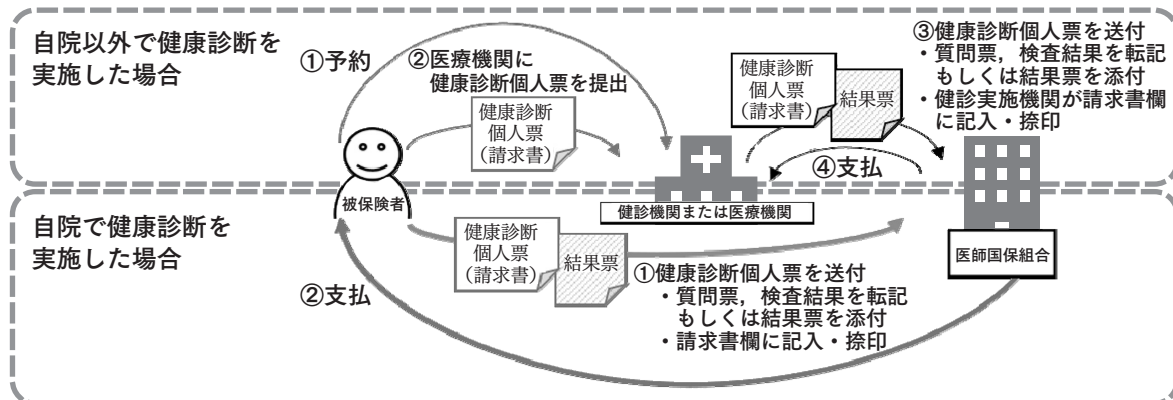
上記日程のご予約は当組合（TEL 0985-22-6588）へご連絡ください。

※日曜健診でのオプション（胃部内視鏡検査，低線量ヘリカルCT肺がん検診）はすべての日程で満員となりました。

※平日・土曜日のご予約・お問い合わせは健診センター（TEL 0985-77-9108）へお願いします。

◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院で実施しても当組合に請求することができます。



特定保健指導**◆対象者**

対象者には、当組合より利用券を送付します。特定保健指導のご案内が届いた方は必ず受けてください。

2 インフルエンザワクチン接種補助**◆対象者**

被保険者全員並びに高齢組合員

◆補助金額

1人1回2,000円（高齢組合員は1,000円）

3 その他保健事業

請求方法などの詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合Webサイトをご覧ください。

- 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助
- 2) 脳ドックなどの補助
- 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助
- 4) 低線量ヘリカルCT肺がん検診（無料）
- 5) 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
- 6) 歯科健康診査（無料）

申請書は、
当組合Webサイトからもダウンロードできます。
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

医師国保からのお知らせ

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなど健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

<被保険者の資格喪失届について>

世帯内のご家族が協会けんぽなどの他の医療保険に加入される場合には、資格喪失届が必要です。組合員は事由発生から14日以内に被保険者証を添えて届け出てください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

医師協同組合だより

グループ保険(団体定期保険)のおすすめ

死亡保障は最大
4000万円!

特 徴



- ①「お手頃な保険料」
スケールメリットを生かしたお手頃な保険料で補償を準備
- ②「毎年見直しができる」
ライフステージの変化に合わせて補償を毎年見直せます
- ③「ご家族の補償も準備」※1
配偶者様も一緒にお申込みできます
- ④「配当金も魅力」※2
剰余金が生じた場合は、配当金を受け取れます
- ⑤「申し込み手続きが簡単」※3
簡単な告知のみで、医師の診査は必要ありません



※1 本人は1,000万から4,000万まで、500万刻みで加入でき、
配偶者は1,000万まで加入できます。

※2 配当金は毎年変動し、0(ゼロ)となる可能性もあります。

※3 健康状態によっては加入できない場合があります。

【補償内容】

死亡や所定の高度障害になった場合に、お支払いします

【加入資格】

新規加入は満50歳6カ月まで、継続は80歳6カ月まで

【月額保険料例】

40歳男性、補償金額4,000万円の場合・・・5,240円

45歳女性、補償金額4,000万円の場合・・・5,400円

50歳男性、補償金額4,000万円の場合・・・9,800円

(この保険の詳細等は下記までお問い合わせください)

【お問い合わせ先】

宮崎県医師協同組合

TEL: 0985-23-9100

FAX: 0985-23-9179

追 悼 の こ と ば

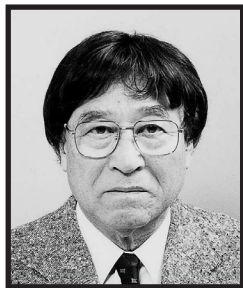
都城市北諸県郡医師会

吉 山 政 敏 先生

(昭和5年1月31日生 92歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き
吉山政敏先生のご葬儀が
執り行われるにあたり、
都城市北諸県郡医師会を
代表いたしまして、謹ん
で哀悼の意を表し、お別
れの言葉を申し上げます。



先生は、これまで地域
医療一筋にご活躍をされてこられました。平成
31年に体調を崩され、都城市内の医療機関にご
入院され、その後、ご療養されていましたが、
今年に入り、再度、体調を崩されたとお聞き
し、私ども会員一同、一日も早いご回復を念じ
ておりました。

しかし、去る10月11日の午後6時58分に、
先生がご逝去されたとの突然の訃報を受け、痛
恨の念に絶えず残念で仕方ありません。

先生急逝の知らせは、ほどなく全会員に伝え
られ、会員一同、深い悲しみに包まれていると
ころでございます。

ましてや、ご家族、ご遺族の皆様方のお悲し
みは察するにあまり、お慰めの言葉もありません。
私ども医師会員一同、心より哀悼の意を表
する次第でございます。

先生は、昭和5年1月31日、4人兄弟の次男
として、地元高崎町でお生まれになられました。
長じて医学の道を志し、昭和31年に大阪医
科大学をご卒業、大学病院での実地修練を終
え、医師としてのスタートをきられました。そ
の後、昭和33年2月から国立都城病院にて研鑽
を積み、昭和39年10月に、地域医療に貢献
されるべく、都城市北原町に「北原産婦人科医

院」を開業されました。以来、開業医として永
きにわたり、地域住民の医療、保健、福祉の向
上に貢献をされてこられました。

先生は、私ども医師会活動におきましても、
多忙な診療の傍ら、学校医を務められ、児童生
徒の健康管理、保健衛生に精力的に取り組まれ
ました。

また、看護師の養成にも積極的に取り組まれ、
都城看護専門学校講師として、看護師の育成
に多大なるご貢献、ご尽力をいただきました。

これらのご功績に対し、学校保健功労とし
て、平成元年に都城市教育長表彰、平成15年に
宮崎県教育長表彰、令和元年に文部科学大臣表
彰を受賞されました。

先生は、一度診療を離れますとゴルフがお好
きで腕前はシングルと伺っております。一方
で、短歌、書道、絵画などを楽しまれ、医師会
の機関紙である「医苑」に毎回作品を寄稿いた
だきました。

先生には、お子様が3人おられますが、3人
とも医師としてご活躍中であり、長男の賢一先
生は奥様の登志子先生とともに、後継者として
立派にご意志を継いで地域医療に取り組まれて
おられ、先生もさぞかしご安心のことと思います。

先生、これからは、遥か彼方より、お子様の
ご活躍とご家族の安泰、ご繁栄、医師会の発展
を末永く見守りください。

最後になりましたが、先生がこれまで地域医
療に捧げられましたご功績に対し、深い尊敬と
感謝の念を表し、先生のご冥福を心よりお祈り
申し上げ、お別れの言葉といたします。

令和3年10月14日

一般社団法人 都城市北諸県郡医師会
会長 田口 利文

**令和3年9月7日(火) 第10回常任理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について****①宮崎大学医学部医の倫理委員会委員の委嘱(更新)について**

→人を対象とした医学研究の倫理審査を行う委員の委嘱依頼で、大塚理事の再任が承認された。

②宮崎大学医学部認定再生医療等委員会委員の委嘱(更新)について

→診療や研究において再生医療を提供する際に審査を行う委員の委嘱依頼で、大塚理事の再任が承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について**①11/13(土)(メディキット県民文化センター)**

第42回全国歯科保健大会の後援について
→「いきいき歯つらつ健口長寿」をテーマに本県で開催される歯科保健推進のための全国大会で、名義後援を行うことが承認された。

②12/12(日) 第16回宮崎県作業療法学会の名義後援について

→「作業療法士の可能性～未来創造～」をテーマに開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 10/2(土) 九州医師会連合会第394回常任委員会並びに令和3年度第1回各種協議会の開催について

常任委員会については会長の出席が承認され、議題提出の希望などがあれば事務局を経由して会長に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。各種協議会の出欠については後日事務局から照会することとなった。

4. 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会(11/13(土))における日本医師会への質問・要望事項について

この協議会で取り上げてほしい日医への質問・要望事項があれば、事務局を経由して会長に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

5. 小児在宅医療に関する人材養成講習会の受講者の推薦について

地域の小児在宅医療を支える人材を育成する講習会で、宮崎大学や県立病院、小児在宅医療に取り組んでいる診療所などの医師5名を推薦することが承認された。

(報告事項)**1. 8月末日現在の会員数について****2. 8/28(土)(県医)九医連常任委員会について****3. 8/29(日) 全国有床診療所連絡協議会役員会について****4. 8/27(金)(県医)都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について****5. 8/27(金)(県医)新型コロナウイルス感染症に関する会見(勉強会)について****6. 8/27(金)(県医)日医公衆衛生委員会について****7. 9/7(火)(県医)治験審査委員会について****8. 新型コロナ自宅療養者への健康観察体制確保事業について****9. 8/30(月)(県医)学校医部会総会・医学会について**

医師連盟関係

(報告事項)

1. 「自民党宮崎県政経セミナー2021」延期のお知らせ

令和3年9月14日(火) 第11回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①国立大学法人宮崎大学経営協議会委員の
就任について

→大学の重要事項の審議機関として設置
される協議会委員の就任依頼で、引き
続き河野会長が就任することが承認さ
れた。

2. 後援・共催名義等使用許可について

- ①11/28(日) 第26回宮崎県理学療法学会の
名義後援について

→「～つなが～ アダプテッドスポーツと
社会参加」をテーマに開催される学会
で、名義後援をすることが承認された。

3. 業務委託について

- ①新型コロナウイルス感染症対策事業にお
ける業務委託契約について

→新型コロナウイルス感染症や同ワクチン
に関する情報を医療機関に対し速やか
に提供することなどを目的とする事業
で、契約を締結することが承認された。

- ②令和3年度県主治医研修業務委託契約に
ついて

→要介護認定の重要な審査資料である主
治医意見書の適切な記載方法などの研
修を行う事業で、契約を締結すること
が承認された。

- ③令和3年度インフルエンザ定期予防接種
に係る広域契約について

→県内の高齢者が居住市町村以外でイン

フルエンザ定期予防接種を受けること
を可能とするために本会と県内全市町
村が締結する契約で、接種料金および
契約を締結することが承認された。

4. 令和3年度公衆衛生事業功労者表彰（厚生労働大臣表彰）候補者の推薦について

健康増進、疾病予防、生活衛生、衛生教育などの諸事業における功績が顕著な方に贈られる表彰で、3名を推薦することが承認された。

5. 9/28(火) 各郡市医師会長協議会について

会の進行や内容について検討を行い、議題として新型コロナウイルス感染症に関することと、9/21(火)に開催される日医の都道府県医師会会長会議の報告を主な内容とすることが承認された。

6. 11/9(火) 県福祉保健部・病院局との意見交換会の開催について

本会の主催により、県に対し来年度の要望をすることを主な目的として開催することが承認された。要望内容については、各郡市医師会にも照会し、担当役員が各郡市医師会の意見を含め簡潔に取りまとめることとなった。

7. 第121回九州医師会連合会総会における宣言・決議（案）について

九医連担当の沖縄県医師会より、11/13(土)に開催される総会で採択する宣言と決議の案が示され、検討の結果、宣言に、看護師・准看護師の養成に関する一文を追加することを修正意見として回答することが承認された。

8. 12/9(木) 令和3年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の開催について

日医医賠償保険の運営報告や医事紛争に関する情報共有を目的に開催される協議会で、小牧常任理事が出席することが承認された。あわせて、新型コロナウイルス感染

症関係の情報提供が求められているため各郡市医師会に照会することとした。

9. 令和4年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業提案及び意向調査結果について

基金を活用した事業提案と病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備事業の意向調査について、各郡市医師会などを通じて照会した結果、事業提案1件、意向調査3件の回答があり、すべて県に提出することが承認された。

（報告事項）

1. 9/8(水) 日医会員の倫理・資質向上委員会について
2. 9/9(木) 日医学術推進会議について
3. 9/11(土)・12(日) 全国医師会共同利用施設総会について
4. 9/11(土)・12(日) 県先端ICT人材育成事業2DAYキックオフイベント（セミナー）について
5. 9/11(土)（県医）全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等について
6. 9/10(金) 日医勤務医委員会について
7. 9/13(月)（県医）小児在宅医療に関する打合せ会について
8. その他
 - ① 9/9(木) 県慢性腎臓病対策推進会議について

令和3年9月28日(火) 第6回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

1. 令和3年度医療機関税制セミナーの開催について

医療機関経営に係る税制・税務の理解を深めるためのセミナーについて、日医より本県での開催について依頼があり、日医、TKC全国会、県医師会、県医師協同組合

の4者共催で例年どおり開催することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

① 県がん対策審議会委員の推薦について

→本県におけるがん対策の重要事項を審議するための審議会委員の任期満了にともなう推薦依頼があり、引き続き河野会長を推薦することが承認された。

② 宮崎大学医学部附属病院専門研修プログラム連絡協議会委員の委嘱について

→宮崎大学医学部附属病院で行われる専門研修プログラムを円滑に実施するための協議会委員の任期満了にともなう委嘱依頼があり、引き続き金丸常任理事の就任が承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

① 12/4(土) 第57回九州医療ソーシャルワーカー研修会みやざき大会に関する名義後援と広告協賛について

→「Withコロナ時代に考えるソーシャルワークの力と可能性」を大会テーマに本県で開催される九州ブロックの研修会で、名義後援のみを行うことが承認された。

② 令和4年2月5日(土)（延岡）日本医療マネジメント学会第14回宮崎県支部学術集会のご後援（名義使用）の許可について →「多様化する医療～科学と情熱の融合を目指して～」をテーマに開催される学術集会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 10/14(木)（県庁）九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて

4 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、荒木常任理事を立会人として派遣することが承認された。

5. 11/6(土) 令和3年度日本医師会女性医師

支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議の開催について

女性医師支援やドクターバンクに関する担当者が連携し、支援の充実を図るために開催される会議で、本会から荒木常任理事と金丸常任理事、県行政から2名、大学医学部から2名の出席が承認された。

6. 10/21(木) 第2回全国医師会産業医部会連絡協議会の開催について

全国の産業医部会などのネットワーク化と認定産業医支援事業の充実・強化を図ることを目的に開催される協議会で、瀬ノ口常任理事が出席することと各郡市医師会に案内することが承認された。

7. 業務委託について

①令和3年度HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）母子感染対策事業に係る業務の委託契約について

→HTLV-1の母子感染を減らすことを目的に、HTLV-1キャリアの実態調査や研修会などを実施する事業で、契約を締結することが承認された。

8. 10・11月の行事予定について

（報告事項）

1. 週間報告について

2. 9/21(火)（県医）日医理事会について

3. 9/21(火)（県医）都道府県医師会長会議について

4. 9/24(金)（県医）都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について

5. 9/16(木)・22(水)（県医）広報委員会について

6. 9/25(土)（県医）県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会について

7. 9/27(月)（県医）県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防研修会について

8. 9/16(木) 日医地域包括ケア推進委員会について

9. 8/25(水)（宮崎労働局）労災診療指導委員会について

10. 8/25(水)（県医）医学会誌編集委員会について

11. 8/30(月)（県医）新型コロナウイルス感染症に係る周産期医療体制関係者協議について

12. 9/4(土)（県医）県医師会医学会について

13. 9/24(金)（県医）自宅・宿泊療養妊婦への分娩監視装置活用に関する協議

14. 9/28(火)（九州厚生局宮崎事務所）九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

15. 9/25(土)（県医）産業医研修会（前期）について

16. 9/4(土) 日医未来医師会ビジョン委員会について

医師連盟関係

（報告事項）

1. 9/15(水)（県医）三師会懇談会について

県 医 の 動 き

(10月)

1	(日医) 日医医療秘書認定試験委員会 (池井常任理事) 医療従事者向け認知症対応力向上研修会 (Web会議) (石川常任理事)
2	九医連常任委員会 (Web会議) (会長) 全国医師会勤務医部会連絡協議会 (Web会議) (荒木常任理事他) 九医連各種協議会 (Web会議) (会長他) 県警察医会総会・特別講演会 (玉置理事)
5	治験審査委員会 (Web会議) (荒木常任理事他) 第12回常任理事協議会 (会長他)
7	県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医医療事故調査支援委員会合同会議 (会長他) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 (金丸常任理事)
8	都道府県医師会運動・健康スポーツ医学担当理事連絡協議会 (Web会議) (帖佐理事) 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会 (Web会議) (金丸常任理事)
9	病院部会・医療法人部会合同研修会 (池井常任理事他) 江藤拓候補陣中見舞い (河野委員長)
9 10	日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会 (Web会議)
11	園医部会総会・研修会 (Web会議) (高木常任理事)
12	第13回常任理事協議会 (会長他)
13	支払基金支部運営委員会 (会長) 広報委員会 (Web会議) (荒木常任理事他)
14	社会保険医療担当者の新規個別指導 (荒木常任理事) 県立病院事業評価委員会 (会長) 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議) (嶋本理事他)
15	県個人情報保護審議会 (荒木常任理事) 県医療審議会医療計画部会 (山村副会長他)
16	ICLS指導者養成ワークショップ
17	ACLS研修会
18	県小児科医会生涯研修セミナー準備委員会 (Web会議) (高木常任理事)
19	日医理事打合会 (Web会議) (会長) 日医理事会 (Web会議) (会長)

20	労災診療費算定実務研修会 (Web会議)
21	全国医師会産業医部会連絡協議会 (Web会議) (瀬ノ口常任理事)
22	日医公衆衛生委員会 (Web会議) (吉田常任理事) 全国国保組合協会理事会 (Web会議) (秦理事長) 厚労省小児在宅医療に関する人材養成講習会 (Web会議) 県経済団体協議会代表者・幹事合同会議 (会長) 全国国保組合協会実行運動本部委員会 (Web会議) (秦理事長) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (Web会議) (濱田副会長他) 広報委員会 (Web会議) (荒木常任理事他) 県外科医会秋期講演会 (Web会議) (岩村理事)
23	全国有床診療所連絡協議会役員会 (Web会議) (会長) 産業医研修会 (実地) (瀬ノ口常任理事) 九州各県内科医会連絡協議会他 (玉置理事)
23 24	全国有床診療所連絡協議会総会 (Web会議) (会長他)
24	県小児科医役員会 (高木常任理事) 県小児科医会秋季学術講演会 (高木常任理事) 宮崎から医師をめざそう！応援フォーラム (荒木常任理事他) 河野しゅんじ県政報告会 (河野委員長)
25	産業医部会総会・研修会 (TV会議) (会長他)
26	医協理事会 (河野理事長他) 第7回全理事協議会 (会長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (河野理事長他)
27	県医師会女性医師等保育支援サービス事業サポート会員養成講座 (荒木常任理事) 労災診療指導委員会 (川野理事) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本理事) 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研修会) (Web会議) (会長他)
28	県医師会女性医師等保育支援サービス事業サポート会員養成講座 (荒木常任理事) 医師国保組合理事会 (秦理事長他)
29	九医連常任委員会 (Web会議) (会長)
30	全国学校保健・学校医大会 (Web会議) (高木常任理事他) (大分) 九州医師協同組合連合会通常総会 (山村副理事長) (大分) 九州医師協同組合連合会理事会 (山村副理事長)

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和3年10月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 12人

1) 男性医師求職登録数 10人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	5	3	2
麻酔科	1	0	1
精神科	2	1	1
老健	2	1	1

2) 女性医師求職登録数 2人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	2	0	2

2. 斡旋成立件数 84人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和3年度	3	3	6
平成16年度から累計	60	24	84

3. 求人登録 102件 353人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	108	85	23	消化器外科	3	2	1
外科	27	22	5	乳腺外科	3	3	0
整形外科	30	24	6	健診	8	5	3
精神科	16	14	2	泌尿器科	5	3	2
脳神経外科	12	8	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	15	13	2	皮膚科	4	2	2
麻酔科	12	9	3	婦人科	2	2	0
眼科	10	8	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	11	10	1	人工透析	8	6	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	6	5	1	診療科目不問	3	3	0
脳神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	9	8	1	内分泌糖尿病内科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	6	6	0
救命救急科	9	9	0	合計	353	282	71

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会さから病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮崎市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230212	医)青葉会のざきクリニック	宮崎市	内,在宅	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透,(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都城市	内	2	常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都 城 市	糖内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都 城 市	内	1	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三 股 町	内	1	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延 岡 市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ大貫診療所	延 岡 市	内,外 (いずれか)	1	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日 南 市	外,内	5	常勤・非常勤
230198	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串 間 市	不問	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和3年10月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ:2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地:2,280.83㎡ (691.16坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり(20台) 所有者:西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地:1,991.34㎡ (603.43坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ 2階 638.35㎡ 計 1,109.76㎡ (336.29坪) ※駐車場あり(30台) 所有者:(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地:4,449㎡ (1,348.18坪) 建物:鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台) 所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	③ 宮崎市上野町5-1 土地:1,260.55㎡ (381.98坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり(22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫 所有者:宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地:1,654.58㎡ (501.38坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり(50台) 所有者:(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地:875㎡ (265.15坪) 建物:木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台) 所有者:西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyouto@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和3年10月27日

11			月		
1	月				
2	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第14回常任理事協議会	16	火	14:00 日医理事会 (Web会議) 18:30 第8回全理事協議会 19:00 宮崎大学と県医師会 (役員) との懇談会
3	水	(文化の日)	17	水	14:00 日医会員の倫理・資質向上委員会 (Web会議)
4	木	15:30 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 (Web会議)	18	木	19:00 医協会計監査
5	金	19:00 認知症サポート医・かかりつけ医フォローアップ研修会	19	金	14:30 宮崎地方・家庭裁判所委員会 19:00 医学賞選考委員会
6	土	14:00 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議 (Web会議)	20	土	15:00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研修会) (Web会議)
7	日		21	日	14:00 県整形外科医会研修会
8	月	19:00 介護保険委員会 (Web会議)	22	月	14:00 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会
9	火	16:30 日医連執行委員会 (Web会議) 18:30 第15回常任理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	23	火	(勤労感謝の日)
10	水	16:00 支払基金支部運営委員会	24	水	15:00 労災診療指導委員会 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 広報委員会 (Web会議) 19:00 奥様医業経営塾特別セミナー (Web会議)
11	木	19:00 広報委員会 (Web会議) 19:30 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	25	木	
12	金	15:00 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会	26	金	15:00 日医医師会共同利用施設検討委員会 (Web会議) 15:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 (Web会議) 16:00 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (Web会議) 19:00 県医中間監事監査
13	土	10:00 九医連委員・九州各県役員合同協議会 (Web会議) 12:30 全国歯科保健大会 13:00 九州医師会総会・医学会 (Web会議) 13:00 九州小児科医会保険審査委員連絡協議会 (Web会議) 16:00 九州小児科医会役員会 (Web会議)	27	土	15:00 (福岡) 九州学校検診協議会専門委員会
14	日	九医学分科会	28	日	9:00 小児在宅医療実技講習会
15	月	13:00 県経済団体協議会代表者・幹事合同会議 18:30 県循環器病対策推進協議会 19:00 県小児科医会生涯研修セミナー準備委員会 (Web会議)	29	月	
16	火	13:00 日医理事打合せ (Web会議)	30	火	18:30 医協理事会 19:00 第16回常任理事協議会

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和3年10月27日

12			月		
1	水		16	木	日医地域包括ケア推進委員会 (Web会議)
2	木	14:00 日医学術推進会議 (Web会議) 19:00 子ども救急医療電話相談 (#8000) に関する意見交換会 (Web会議)	17	金	18:00 指導医のための教育ワー クショップ打合せ会 19:00 広報委員会 (Web会議) 19:00 自殺対策うつ病研修会 (TV会議)
3	金	15:00 日医医療秘書認定試験委員会			
4	土				
5	日	13:00 女性医師支援担当者連絡会 (Web 会議)	18	土	9:00 指導医のための教育ワー クショップ 14:00 かかりつけ医認知症対応 力向上研修会
6	月				
7	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第17回常任理事協議会	19	日	8:30 指導医のための教育ワーク ショップ
			20	月	
8	水	16:00 支払基金支部運営委員会 19:00 高次脳機能障がい講演会 (Web 会議)	21	火	13:00 日医理事打合会 (Web会議) 14:00 日医理事会 (Web会議)
9	木	13:30 都道府県医師会医事紛争担当理 事連絡協議会 (Web会議)	22	水	15:00 労災診療指導委員会
			23	木	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮 崎部会
10	金	14:00 日医勤務医委員会 (Web会議) 17:00 県地域医療対策協議会 19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研 修会) (TV会議)	24	金	13:30 日医公衆衛生委員会 (Web会議) 16:00 都道府県医師会新型コロナウイルス 感染症担当理事連絡協議会 (Web会議)
11	土	14:30 産業医研修会 (TV会議)	25	土	
12	日	13:00 都道府県医師会学校保健担当理 事連絡協議会 (Web会議)	26	日	
			27	月	
13	月	19:00 広報委員会 (Web会議)	28	火	18:30 医協理事会 19:00 第18回常任理事協議会
14	火	19:00 第9回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	29	水	(年末休業)
15	水		30	木	(年末休業)
			31	金	(年末休業)

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第158回宮崎心臓病 研究会 (Web講習会) 11月1日(月) 19:00～20:10 宮崎観光ホテル ※受講はWebのみ	広島大学での不整脈診断・治療について 広島大学大学院 医系科学研究科 循環器内科学 教授 中野 由紀子 他	15 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 日本ライフライン(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
令和3年度医師等 医療従事者結核研 修会 11月2日(火) 18:00～19:30 高千穂保健所	結核の早期診断と病院や施設での感染対策について 熊本南病院 呼吸器科 部長 山中 徹	8 (1.0)	◇主催 宮崎県高千穂保健所健康づくり課 (連絡先) 宮崎県高千穂保健所 ☎0982-72-2168
宮崎県耳鼻咽喉科 医会学術会 (Web講習会) 11月4日(木) 18:20～20:30 KITEN ※受講は現地また はWeb	舌下免疫療法における顎下リンパ節通常型樹状細胞の 免疫寛容原性によるアレルギー制御 宮崎大学医学部医学科 感染症学講座 免疫学分野 助教 高木 秀明	15 (0.5)	◇主催 宮崎県耳鼻咽喉科医会 ◇共催 ※鳥居薬品(株) ☎080-5940-7916 宮崎県上気道免疫療法研究会
	嗅覚障害診療の最前線 ～アレルギー疾患から感染症まで～ 東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室 講師 森 恵莉	15 (0.5)	
	アレルギー性鼻炎，そして内視鏡下前頭蓋底手術 千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学 教授 花澤 豊行	39 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県内科医会学術講演会 (Web講習会) 11月4日(木) 19:00～20:00 MRTmicc ※受講は現地またはWeb	CardioRenal-Anemia-Iron Deficiency Syndromeと新しい腎性貧血治療への期待 宮崎大学医学部医学科 血液・血管先端医療学講座 教授 藤元 昭一	19 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※協和キリン(株) ☎0985-22-8801
南那珂医師会生涯教育学会 (Web講習会) 11月4日(木) 19:00～20:00 南那珂医師会館 ※受講は現地またはWeb	心房細動と心不全～最新の話題について～ 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 部長 足利 敬一	43 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 バイエル薬品(株)
宮崎県医師会産業医研修会 11月9日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の实地研修会：2単位	1 (0.5) 4 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 11月10日(水) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支援センター	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	4 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第6回宮崎県皮膚科耳鼻咽喉科免疫アレルギー・ジョイントセミナー (Web講習会) 11月11日(木) 18:30～20:30 宮崎観光ホテル ※受講はWebのみ	思春期のウイルス感染症と頭頸部の疾患 金沢大学医学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授 吉崎 智一 ----- 疥癬と痒みに関する話題 赤穂市民病院 皮膚科 部長 和田 康夫	8 (0.5) 30 (0.5) ----- 15 (0.5) 26 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科耳鼻咽喉科免疫アレルギー・ジョイントセミナー ◇共催 日本耳鼻咽喉科学会宮崎県地方会 日本皮膚科学会宮崎地方会 ※大鵬薬品工業(株) ☎0985-27-4527 Meiji Seika ファルマ(株)
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 (Web講演会) 11月11日(木) 19:00～20:15 ガーデンベルズ小林 ※受講は現地またはWeb	高齢者高血圧における夜間高血圧と神経体液性因子～エンレストへの期待～ 東京都健康長寿医療センター 副院長 原田 和昌	74 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 大塚製薬(株) ノバルティスファーマ(株)
宮崎県医師会産業医研修会 11月17日(水) 19:00～21:00 県医師会館	精神疾患と自殺対策 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎大学医学部附属病院2021年度感染対策講演会 11月18日(木) 17:00～18:15 宮崎大学医学部附属病院	【専門医共通講習－②感染対策(必修)：1単位】 当院の感染対策アップデート 宮崎大学医学部附属病院 感染制御部 部長 高城 一郎	8 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属病院感染制御部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-9795

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月18日(木) 19:00～21:00 県医師会館	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 串間市民病院 院長 生涯研修の实地研修会：2単位	江藤 敏治 4 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎市郡産婦人科 医会11月例会学術 講演会 (Web講習会) 11月18日(木) 19:10～20:10 レンブラントホテ ル大分 ※受講はWebのみ	思春期のプレコンセプションケアとその後の人生 ～月経困難症・子宮内膜症を含めて～ 大分大学医学部 産婦人科学講座 特任教授	榎原 久司 55 (0.5) 71 (0.5)	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 ◇共催 バイエル薬品(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会館 ☎0985-77-9100
令和3年度宮崎県 整形外科医会研修会 11月21日(日) 14:00～16:00 県医師会館	令和3年度全国整形外科保険審査委員会議報告について 県国民健康保険診療報酬審査委員 税所 幸一郎 県社会保険診療報酬支払基金審査委員 船元 太郎	9 (1.0)	◇主催 ※宮崎県整形外科医会 ☎0985-22-5118 ◇共催 旭化成ファーマ(株)
	骨粗鬆症性椎体骨折に対する診断と治療 ～骨形成促進薬早期導入のすすめ～ 宮崎大学医学部附属病院 整形外科 病院准教授	77 (1.0)	濱中 秀昭
佐土原地区学術講 演会 11月24日(水) 19:00～20:10 シーガイアコンベ ンションセンター	糖尿病以外の生活習慣病にも注目した日常診療 ～増え続ける新薬を上手に使いながら～ 宮崎大学医学部 内科学講座血液・糖尿病・内分泌内科学分野 助教	82 (1.0)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※持田製薬(株) ☎0985-23-3130
	上野 浩晶		

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月30日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	人生100年時代に向けた高年齢労働者の安全衛生対策Up To Date 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 12月2日(木) 14:00～16:00 県医師会館	職場でみられるうつ病とその対策 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	9 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 12月7日(火) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 医師 田中 伸明 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第196回宮崎県眼科 医会講習会 12月11日(土) 16:00～19:15 アートホテル宮崎 スカイタワー	眼科分野における水素の適応 日本医科大学千葉北総病院 眼科 病院教授 五十嵐 勉 ----- 緑内障治療を最適化するために必要なこと 海谷眼科 岩田和雄記念 海仁緑内障センター 山本 哲也	36 (1.0) 36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第14回はまゆう整形外科セミナー 12月11日(土) 17:30～18:30 宮崎観光ホテル	痙攣に対する整形外科的アプローチ 宮崎県立こども療育センター センター長 川野 彰裕	72 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部整形外科学教室同門会 ☎0985-85-0986
	若年者の上肢疾患症例について考える 藤元総合病院 整形外科 部長 矢野 浩明	78 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 12月16日(木) 19:00～21:00 県医師会館	企業における障害者雇用と就労支援 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511
		3 (0.5)	◇共催 宮崎県医師会
		6 (0.5)	
		9 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 12月21日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	企業における障害者雇用と就労支援 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511
		3 (0.5)	◇共催 宮崎県医師会
		6 (0.5)	
		9 (0.5)	
第83回宮崎整形外科懇話会 12月25日(土) 17:30～18:30 県医師会館	解剖研究からみた肩関節疾患 東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 運動器機能形態学講座 教授 二村 昭元	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 1月11日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	働き方改革に対する産業医・産業保健スタッフの具体的 な関わり方 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	3 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 1月14日(金) 19:00～21:00 県医師会館	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 医師 田中 伸明 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 1月20日(木) 19:00～21:00 県医師会館	働き方改革に対する産業医・産業保健スタッフの具体的 な関わり方 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 1月27日(木) 19:00～21:00 県医師会館	最近、一年間(令和3年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

診療メモ



子宮内膜症の臨床

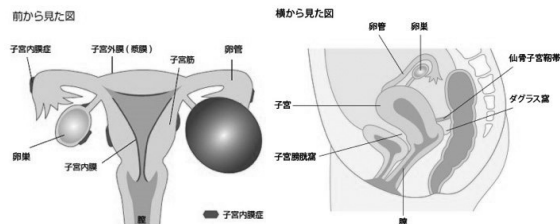
宮崎善仁会病院 こめ だ ゆかり
米 田 由香里

◎子宮内膜症とは

子宮内膜組織あるいは、それに似た組織が、子宮内外の場所で発生し、月経と同じような変化をすることで起こります。はじめは小さな斑点状の病変ですが、月経を繰り返すたびにどんどん大きくなって、炎症により周囲と癒着し臓器同士の動きが悪くなり、痛みも強くなっていきます。月経血が月経のたびに腹腔内に逆流しておこる逆流説や、腹膜がなんらかの原因で子宮内膜に似た組織に化生して起こる化生説などが言われていますが、1つの原因ですべてを説明できないのが現状です。

起こりやすい場所は、子宮周辺の腹膜表面、卵巣（チョコレート嚢胞）やダグラス窩、仙骨子宮靱帯、卵管などで、稀に腸管、膀胱、臍、肺、鼠径部などにみられることもあります。

女性の10人に1人がかかり、20～30代の女性で発症することが多く、ピークは30～34歳といわれています。現代女性は初経年齢も低くなり、結婚、出産年齢が高くなっているのも、昔と比べて生涯の月経回数が増えていることも、子宮内膜症のリスクが高くなっている理由の1つと考えられます。また、環境ホルモンや免疫の問題などが指摘され研究されています。



◎症 状

子宮内膜症は、周りの組織を刺激していろい

ろな症状を起こす慢性炎症性疾患であり、最も多いのは痛みです。9割の患者さんは月経痛を自覚し、症状が強いとQOLが低下します。進行すると月経時以外にも慢性的に腰痛や下腹部痛を自覚し、排便痛や性交痛を訴えます。

また、不妊症の原因にもなり、癒着による卵管通過障害や、炎症物質による排卵障害、着床障害のためと考えられています。最近では、子宮内膜症合併妊娠で、子宮内膜症の病巣から腹腔内に突然出血したり、前置胎盤や早産を合併するリスクが高くなるなどのデータも示されています。更に、慢性炎症性疾患である子宮内膜症は、心血管内皮への影響などのため、将来的に生活習慣病のリスクが高くなることもわかってきています。

◎診 断

内診で子宮の可動域制限や圧痛、ダグラス窩の硬結、超音波検査で卵巣の腫大、採血で腫瘍マーカーCA125、CA19-9の上昇などがみられたら、子宮内膜症を疑います。卵巣チョコレート嚢胞が疑われたら、MRI検査でより詳しく診断可能です。腹膜病変は画像などでわからないため、症状と合わせて診断します。

◎治 療

●薬物治療

痛みには鎮痛剤でコントロールを図りますが、根本治療にはなりません。大切なのは、排卵を抑制し、エストロゲンの過剰な分泌を抑え、子宮内膜の増殖を抑えることです。そのために使用するのが、低用量卵胞ホルモン・黄体ホルモン配合剤（低用量ピル）です。軽症の方や若い方に使うことが多く、症状が重い方や、30代後半以降は、子宮内膜増殖抑制作用のある黄体ホルモン製剤を使用します。黄体ホルモン

製剤は、子宮内膜症の組織に直接働きかけて病巣を萎縮させるほか、痛みの原因になるプロスタグランジンの産生やサイトカインのレベルを下げる働きもあるため、痛みの症状を抑える力も強いです。

低用量卵胞ホルモン・黄体ホルモン配合剤も黄体ホルモン製剤も、長期的な使用が可能です。閉経期まで使い続けることもできます。卵巣チョコレート嚢胞の縮小効果もみられるので、卵巣腫大があっても必ずしも手術が必要ではないこともよくあります。

少し前には、偽閉経療法（GnRHaアナログ製剤）が有名でしたが、骨量減少などの副作用の問題があり、6か月間の限定的使用のみです。最近では、よほど症状が重いときや、手術の前などに限定して使用します。

〈ホルモン治療薬〉

ホルモン治療薬	作用	主な副作用	使用期間
低用量卵胞ホルモン・黄体ホルモン配合剤（ピル）	排卵抑制	血栓症、嘔気嘔吐、肝機能障害、血圧上昇	長期・連続投与可能 40歳ぐらいまで
黄体ホルモン製剤	卵巣機能抑制 子宮内膜増殖抑制	不正出血 軽度更年期症状	長期連続使用可能
GnRHaアナログ製剤	排卵抑制 エストロゲン産生抑制	更年期症状 骨量低下	連続6か月まで

●手術療法

卵巣チョコレート嚢胞が大きい場合や、痛みが内服治療でも改善のない場合、不妊治療してもなかなか妊娠しない場合などは、手術療法が勧められます。

最近ではほとんどが腹腔鏡手術で行われ、ダグラス窩など骨盤内の深い病変の観察などで腹腔鏡は優れています。また、若い女性が多いため、手術の創の整容性にも優れています。子宮や卵巣機能は温存しつつ病変を取り除くことが目的ですが、手術だけで完治することではなく、術後の再発予防のために、ホルモン療法を続けるとよいとされます。将来妊娠を考える時期ま

で、術後のよい状態を保つことが可能となります。挙児希望がない場合は、卵巣や子宮を全摘することもあります。

◎癌化のこと

子宮内膜症によるチョコレート嚢胞に対して手術が行われた症例の調査によると、全体の3.4%に卵巣がんが合併していました。がんの合併率は年齢とともに高くなり、40歳代では4%と報告されています。また嚢胞の大きさでは、10cm以上になるとがんの合併率が高くなることから、特に40歳以上で10cm以上、あるいはチョコレート嚢胞の急速な増大を認める症例では、MRIなどの精密検査や手術療法が考慮されます。

◎躊躇せずに婦人科へ

月経痛関連の辛い症状を月経困難症といいますが、ある調査では、月経困難症は日本人女性のうち800～1000万人に見られ、そのうち子宮内膜症は200～400万人いると推定されています。しかし月経困難症の治療を受けているのは90万人といわれています。月経困難症の人は、子宮内膜症リスクが2.6倍という報告があり、月経困難症を認めたら婦人科へ受診し、診断・治療を受けることが大切です。子宮内膜症を治療せずに放っておくと、気がついたら月経以外にも痛みを自覚するようになったり、不妊になったり、卵巣癌になったりするリスクがあります。

なるべく早く見つけて、個人のライフステージに合わせたよりよい治療が勧められます。早期から治療すれば上手くコントロールしていきます。

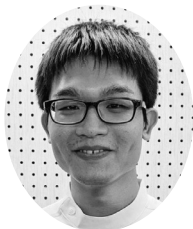
★セルフチェック項目

- ・月経のとき鎮痛剤が効かない
- ・月経痛が年々ひどくなってきた
- ・セックスのとき奥の方が痛い
- ・排便のとき肛門の奥の方が痛い
- ・月経以外のときも、下腹部に鈍痛がある
- ・月経のとき、吐き気やめまいがする
- ・なかなか妊娠しない



1つでも当てはまれば、婦人科へ！

宮大医学部学生のページ

カリキュラム変更と
コロナ禍における学生会の役割宮崎大学医学部 医学科5年 ^{かわ}河 ^の野 ^{だい}大 ^ち地

平成26年度以降、宮崎大学医学部では大幅なカリキュラムの改変が行われてきました。主な変更点の中でも、昨年度より医学科4学年に適用されたCBT・OSCE（以下、「共用試験」という）および臨床科目試験の日程変更は、臨床実習前の学習効率の上昇に大きく寄与していると感じます。今回の変更では、以前は一括されていた4学年前期のカリキュラムを2分割とし、前期前半の試験を5月に、前期後半の試験を7月に行うスケジュールとなりました。また、従来は共用試験の後に4学年前期の臨床科目の試験が行われていましたが、変更後のカリキュラムでは、臨床分野の定期試験がすべて終了した後、1か月以上の期間をおいて共用試験に臨む順序となりました。この変更により、従来のカリキュラムで生じていた「4学年前期に履修する臨床科目の内容を十分に消化しきれないまま共用試験に臨む学生が少なからず存在する」という問題点が解消されました。実際に周囲の意見を聞いても、勉強しやすいカリキュラムであったという声がほとんどです。

平成26年度以降に適用されたその他のカリキュラム変更点として、臨床実習期間の延長、医学科6学年の卒業試験廃止、臨床分野の科目配分の変更などが挙げられます。これまでは主と

して、直近に国試を控える高学年のカリキュラム改革が行われてきました。今後は、低学年のカリキュラムにも調整が入り、現在以上に学習効率の高いものとなることが期待されています。

カリキュラム改革が進むにあたり、当事者である学生間では変化に対するさまざまな意見が生じます。それらの意見を学生の総意としてまとめ上げ、大学へ伝達する役割を果たしているのが、本大学の学生自治組織である学生会です。学生会は宮崎大学医学部の学生で構成され、会員へのアンケート調査や大学との協議を通し、学生・大学間の橋渡しを行う役割を担っています。学生会の主な活動の中でも、平成30年度以降毎年開催している学生大会は、学生会執行部メンバーと会員が直接意見を交わし、総意としての議決を行う場として重要です。

近年、宮崎大学医学部では、学生の医学教育改革への参画が積極的に進められています。具体的に、平成29年度からはカリキュラム委員会に、平成30年度からは教育プログラム評価委員会に、学生会から役員2名が学生代表として参加させていただいています。更に昨年度からは、教務学生連絡協議会が設立され、教務・学生間での定期的な意見交換が可能な体制が取られています。

また、学生会は昨年度以降のコロナ禍において、活動の幅をより一層広げてきました。昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、毎年学生が主催している新歓、学園祭、音楽祭といったイベントの開催様式を大きく変更せざるを得ない状況となりました。そこで、学生会を主体として、各種イベントの実行委員長、サークル・課外活動を取りまとめるサークル委員長、学生会長、教務委員長からなる課外活動連絡協議会を立ち上げ、各部門で緊密な連携を取りつつ、流行状況に即した対応を行ってきました。更に、学生会の専門委員会として設立されたサークル委員会では、コロナ禍におけるサークル・課外活動について、大学の厳格な制限のもと、可能な範囲で自治を行う体制を整えてきました。

学業面においても、昨年度以降、大学の講義は一時自宅受講となり、臨床実習の一部は課題付与式に代替されるなど、医学生・看護学生の

学習環境には大きな変化がありました。これらの変化を受け、学生会では新型コロナウイルス感染防止策に関する臨時アンケートを実施するなど、当事者としての意見を早期に大学へ伝達すべく活動を行ってきました。

新型コロナウイルスの感染拡大以降、学生を取り巻く環境の怒涛の変化を受け、本大学における自治活動の必要性は以前に増して強くなっているように感じます。私は現在会長職を退いていますが、学生会では組織構造や大学との連携体制も確立し、安定した基盤のもと運営を行う体制が整いつつあります。今後も学生・大学間の架け橋としての役目を果たしつつ、学生生活の改善やカリキュラム改革の一端を担う組織として活動していく所存です。学生が意見できる環境に感謝しつつ、今後も大学と協働し、学生を取り巻く環境やカリキュラムをよりよいものにすべく活動を継続してまいります。



今年度学生大会後に撮影した執行部の集合写真

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
9月8日	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年長野県茅野市において発生した土石流にかかる災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その60）
9月10日	<ul style="list-style-type: none"> 「医療分野における電波の安全性に関する説明会」について（周知依頼） 令和3年長野県茅野市において発生した土石流による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について 令和3年介護サービス施設・事業所調査の協力依頼について 未成年者におけるビタミンDを含む加工食品の摂取状況の調査結果等について 新型コロナウイルス感染症に使用した酸素濃縮器の再使用について 軽症患者等を対象とした新型コロナウイルス感染症治療薬の治験について 新型コロナウイルス感染症におけるレムデシビル製剤の各医療機関への配分について（その6） 良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律の一部の施行について（救急救命士法関係） 【新型コロナウイルス感染症対応】経団連との連携による宿泊療養施設および臨時の医療施設等の設置に向けた取組支援について（受入病床確保調整業務支援事業の対象項目追加） オンライン資格確認「集中導入期間」実施中に関するリーフレットの送付について 令和3年度医療機関における外国人患者受入れに係る実態調査実施について（協力依頼） 公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて フェントステープ0.5mg等及びフォシーガ錠5mg等の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項について
9月14日	<ul style="list-style-type: none"> 抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤（オブジーボ点滴静注、キイトルーダ点滴静注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について 材料価格基準の一部改正等について 検査料の点数の取扱いについて サトラリズマブ製剤（銘柄名：エンスプリング皮下注120mgシリンジ）の在宅自己注射について 独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する健康被害救済制度に関する集中広報の周知について（協力依頼） デキサメタゾン製剤が安定供給されるまでの必要な患者への優先的な使用等の対応への協力について 国民健康保険被保険者証を無効とすることについて（通知） 国民健康保険被保険者証を無効とすることについて（通知） ウパダシチニブ水和物製剤（リンヴォック錠7.5mg及び同錠15mg）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について 検査料の点数の取扱いについて 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その61） 職場における積極的な検査の促進について

送付日	文 書 名
9月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・認定NPO法人全世代「待機児童対策の取り組みにかかる保育所等助成事業」について ・令和3年長野県茅野市において発生した土石流による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金に関する申請書の提出期限について（再周知） ・リスク評価結果等に基づく労働者の健康障害防止対策の徹底について ・特別なコミュニケーション支援が必要な障害児者に対する医療機関における対応について ・日本眼科医会作成の『3歳児健診における視覚検査マニュアル ～屈折検査の導入に向けて～』送付について（協力方依頼）
9月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第17次報告）」の送付について ・第32回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」（2021年11月27日～28日）の開催（オンライン開催）について ・「令和3年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金」の交付申請書の提出期限の延長等について ・新型コロナウイルス感染症にかかる医療提供体制の状況を評価するための医療機関等情報支援システム(G-MIS)への入力について ・令和3年度地域医療介護総合確保基金（介護分）の内示について（1回目） ・アストラゼネカ社ワクチン及び武田／モデルナ社ワクチン接種の申込について ・季節性インフルエンザワクチンの供給について（送付） ・コロナワクチンナビの最新情報の更新について(再周知) ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬「カシリビマブ及びイムデビマブ」の医療機関への配分について
9月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・「医療法の一部改正（臨床研究中核病院関係）の施行等について」等の一部改正について ・「希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業」オンライン説明会の開催について（周知依頼） ・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の区域変更等に伴う周知依頼について ・「重症急性呼吸器症候群（SARS）に関するWHO勧告に基づく対応について」の廃止について ・予防接種会場での救急対応に用いるアドレナリン製剤の供給等について（その5） ・ファイザー社ワクチン第15-2クールの新型コロナワクチン等の配分等について ・新規陽性者数等の指標に係るHER-SYSデータへの切替え等について ・蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針の一部改正について ・今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えた医療提供体制の構築に関する基本的な考え方について ・新型コロナウイルス感染症患者の急増に伴う自宅療養・宿泊療養の患者への対応について ・令和3年度結核予防週間の実施について ・ミカトリオ配合錠の保険適用に係る留意事項の一部改正について ・毎月勤労統計調査全国調査及び地方調査第一種事業所の事前調査への協力のお願い（依頼） ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・医薬品等輸入手続質疑応答集（Q & A）について
9月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・美郷町子ども医療費助成制度の自己負担金無料化について（通知） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その75）」の送付について ・令和2年7月豪雨による被災に伴う保険診療の特例措置の期間延長等について ・「使用上の注意」の改訂について ・東日本大震災に伴う保険診療の特例措置に関する取扱いについて

送付日	文 書 名
9月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準等の取扱いについて ・後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて ・入管法の規定により本邦に在留することができる外国人で「短期滞在」等の在留資格を有する方への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種について ・感染対策のための実地での研修に係る令和3年度における第三次募集について ・「介護サービス情報の公表」制度の施行について」の一部改正について
9月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・2021ワールド・アライアンス・フォーラム東京円卓会議の案内とお願い ・令和4年度「病床機能再編支援事業」の実施意向調査について（依頼） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について（4.1版） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（4.1版） ・新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）の体制確保について ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬「カシリビマブ及びイムデビマブ」の医療機関への配分について ・予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について ・アストラゼネカ社ワクチンの接種体制及び流通体制の構築について（その4） ・「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行について（依頼）」の送付について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その62） ・「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その39）」に係る取扱いについて（再周知） ・「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の一部改正について
9月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月以降の医療機関等における感染防止対策の継続支援およびコロナ患者診療に係る特例的な評価の拡充について ・新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保調整業務支援事業の一部改正（実施要領の要件緩和・対象範囲の明確化）について ・令和3年度宮崎県保健指導実施者経験者研修会の開催について（通知） ・令和3年度最低賃金額の改定に関する周知・広報の実施等について（協力依頼） ・健康経営優良法人2022の申請受付について ・第33回（令和3年度）健康スポーツ医学講習会の開催について
9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討会報告書について（周知依頼） ・「オンライン資格確認」のレセプト振替・分割機能の導入について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その63） ・令和3年度地域支援事業実施要綱の改正点について ・最近のダニ媒介感染症の国内の発生状況について
9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その76）」の送付について ・令和3年度県内医療機関WEB合同就職説明会について（依頼） ・令和3年度病床機能報告の実施等について ・新型コロナウイルス感染症患者の受入病床確保調整業務支援補助に関するQ & Aおよび申請書の改定について ・「次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について」及び「次のインフルエンザ流行に備えた体制整備に係る医療用物資の配布について」について ・「感染防止対策の継続支援」の周知について ・新型コロナワクチンの交互接種に係る「使用上の注意」の改訂について ・新型コロナウイルス感染症による死亡事案の把握の徹底について

送付日	文 書 名
9月30日	<ul style="list-style-type: none">・「新型コロナウイルス感染症流行下における薬局での医療用抗原検査キットの取扱いについて」を踏まえた、新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の取扱いについて・新型コロナウイルス感染症流行下における薬局での医療用抗原検査キットの取扱いについて・「感染防止対策の継続支援」の周知について・居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証等について
10月1日	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症におけるレムデシビル製剤の薬価収載に伴う医療機関への配分等について（その2）・科学的介護情報システム(LIFE)に関するお問い合わせの受付体制について・障害者支援施設等における感染防止対策等の徹底について（再周知）・「令和3年度在宅医療関連講師人材養成事業」研修会に関するご協力をお願いについて（依頼）・ファイザー社ワクチンの10月11日以降の配分について・新型コロナウイルス感染症予防接種証明書のデジタル化及び保持者に対する入国後・帰国後の待機期間について・「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行について（通知）」他の送付について
10月2日	<ul style="list-style-type: none">・【県立宮崎病院】新病院の運用開始及び移転に伴う診療等の制限について・医療法第六条の五第三項及び第六条の七第三項の規定に基づく医業、歯科医業若しくは助産師の業務又は病院、診療所若しくは助産所に関して広告することができる事項の一部を改正する告示の施行について・令和2年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準等の取扱いの周知について（依頼）・「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」の一部改正について
10月5日	<ul style="list-style-type: none">・現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト／シェアの推進について・母性健康管理に関する周知・啓発資料の送付について（厚生労働省委託「母性健康管理推進支援事業」）・「令和3年度九州・沖縄地区 医療安全に関するワークショップ」開催について・製薬企業から日本医師会へ医療用医薬品の供給不足等に係る情報を提供された場合のメンバーズルームへの公開について・資格関係誤りレセプトの発生防止に係る保険医療機関への対応 について（お願い）
10月6日	<ul style="list-style-type: none">・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について・性犯罪・性暴力被害者支援のための夜間休日対応コールセンターの設置について・がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針の一部改正について・日本学校保健会主催各種研修会の開催について（依頼）・自立支援型ケアマネジメント推進事業「在宅医療・介護、多職種連携協働に関する研修会」の開催について（ご案内）・介護人材確保に向けた支援策の周知について
10月8日	<ul style="list-style-type: none">・障害者に対する虐待防止措置の取組事例の周知について・「「救急救命士法の施行について」の一部改正について」及び「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律の一部の施行（救急救命士法関係）に伴う関係通知の改正等について（学会ガイドラインを含む）」について・抗PD-1 抗体抗悪性腫瘍剤（オプジーボ点滴静注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について・医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事投稿についてのお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に依ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記・短歌・俳句・川柳・詩

題材：診療閑話、身辺雑記、詩歌、短歌、俳句など、なんでも結構です。

字数：4,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載できます。

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。

お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など、なんでも結構です。

（あらかじめお店へ了承を得ていただきますようお願いいたします）

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚ほど）※掲載は白黒となります。

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど。

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

■ その他

随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しております。

なお、掲載につきましては広報委員会にご一任ください。

原稿の主旨を変えない範囲で、誤字・脱字の訂正や句読点の挿入をする場合があります。

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550

E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

本誌記事に対するご意見やご要望、アイデアなどもお待ちしております。

日州医事は、会員以外（マスコミ・行政・図書館など）にも配付しています。

あとかき



でも、帰るときは挨拶して帰るように決めています。2. チームを大切に。一人ひとりが自分の役割に責任をもって果たす。困っている人がいたら助けに回る。チームメイトの変化に気づき、元気がない人がいたらそばにいてあげる。3. エラーが出たときは、エラーを責めず、みんなで最少失点に抑える。そういうときこそ投手（院長）は0点に抑える。4. つらい状況のときはチームを鼓舞する声掛け、行動をする。5. チームメイトが好プレーをしたときはみんなで喜ぶ。あー、気づきました。5ができていない。私は職員の好プレーに気づき、褒め、喜んでいるだろうか。だめだー。これからは5ができるようになりたい。これまで卒部してから過去のチームはよさに気づいてきました。しかし現在は、今のチームがかけがえのないものに思っています。このあとかきのおかげで、集まってくれた優秀な職員を大切に、みんなで喜び合い、助け合い、野球部のような病院を作っていきたいと再確認できました。ありがとうございました。（石田）

* * *

当院で栄養サポートをしている宮崎出身のプロゴルファー山内日菜子選手が、日本女子オープンプロ選手権というメジャー大会で5位という好成績を残しました。当院の管理栄養士が日々の食事の指導を行い、徐々に体調が良くなるとともに、今まであった頭痛から解放され、メンタルまでも改善した結果、安定してゴルフができるようになったと言ってくれました。ゴルフってマネジメントが重要なのですが、性格がプレーにはっきりと現れます。僕はボールを茂みに入れてしまうと、前が塞がっていても木と木の間に前を狙います。大失敗もしますが、成功したときの達成感はやらないことには味わえません。しかし、無難な生き方ができないので、人生もゴルフも好成績は残せないような気がします。（野村）

* * *

私の所属する合唱団が久しぶりにコンサートに参加した。その名も「coro克つ（かつ）コンサート」。イタリア語で「coro」は合唱、合唱団という意味で、「（新型）コロナに克つ」と掛けたようだ。本番では、いつもは緊張で下肢が震えるのだが、今回は大丈夫だった。しかも、自分の歌声が客席の後ろの壁に当たって響くのが分かり、爽快だった。歌い終わった後は一仕事終えた気分であった。みなさんも合唱を始めてみませんか？（山崎）

* * *

コロナ禍で密を避けるためにWebセミナーが増えました。産婦人科では更年期の方に対して漢方薬を使うことが多いのですが、勤務医時代にほとんど漢方薬を使ったことがなかったため、今がチャンスとばかりにいろいろなセミナーを視聴しています。ただ、視聴はしても復習する時間を作るのが難しく、なかなか身につかないのが悩みです。実際の診療で十分に使いこなせるようになるには、まだしばらく時間がかかりそうです。（高橋）

小学3年生から大学6年生までソフトボール、野球部に所属していたことが、私の人間形成に大きな影響を与えています。開業してからは野球部みたいな病院にしたいと職員に伝えてきました。野球部みたいな病院とはどんな病院なのか。1. 挨拶の徹底です。人とのコミュニケーションに挨拶は重要です。第一印象が大きく変わります。当院ではどんなに嫌なことがあ

コロナ禍で休みの日を家で過ごすことが多くなり、動画のサブスク（定額制サービス）にかなりお世話になっています。なかでも、韓国ドラマを多く見えています。1話が60分以上あるものが多く、1話で映画1本分ぐらいの満足感を得られます。調べたところ、制作費が日本のドラマの3～4倍かかっているらしく、満足感が大きいのも納得です。話題作が数多くあり、見ている友人も多いため、感想や考察を話すのも楽しみの1つになっています。（横山）

* * *

最近、時間ができればランニングをしています。というのも、青島太平洋マラソンに出場することに決めたからです。友人に誘われたときは、私にできるわけない、と思いましたが、今挑戦しなかったら一生しないと思い応募してしまいました。完走できるかどうかはさておき、学生のうちにいろいろなことにチャレンジすることは大事だと気がきました。コロナ禍で制限されることもありますが、残り2年ちょっとの学生生活を存分に楽しみたいです。（安藤）

* * *

心電図判読において師と仰いでいる横浜在住のN先生。80歳過ぎた今も英語論文から最新の知見を得ている。3年ほど前奥様を交えて先生と親しくさせていただいている先生方との食事会があった。その席で誰かが奥様の今の楽しみについて質問したところ即座に「年齢をとるに従い進化していく夫を観れるのが楽しみのひとつ」と答えられた。進化することは難しくても退化していく姿だけは見せないように努力したいものだ。（高木）

今月のトピックス

特集 医療秘書(3) 宮崎短期大学 現代ビジネス科 医療事務・医療秘書コース

医療秘書について先々号からの続きです。働き方改革の一環でタスクシェアリングが叫ばれて久しいですが、一般開業医での医療秘書導入は、ほとんどすすんでいないようです。書類書きや種々の雑務など、依頼したい業務は多々あるのですが、診療報酬上の評価も低く、またどの程度までの仕事を、どのレベルで頼めるのかなど、実態がよく分からないところが多いというのが現状ではないでしょうか。

8 ページ

身近なお困りごと相談室 第1回 職員退職後の情報漏洩

今回からの新コーナーです。医療機関における身近な疑問について各界の専門家にご回答いただきます。第1回は職員退職後の情報漏洩について弁護士法人きさらぎの高山桂弁護士に教えていただきました。最近はSNSの浸透もあり、容易に情報が外部に拡散する時代です。医療業界は非常にデリケートな個人情報を扱うことが多く、情報管理には十分な対策をとりたいものです。

15 ページ

診療メモ 子宮内膜症の臨床

子宮内膜症の病態、診断、治療法などについて、宮崎善仁会病院の米田由香里先生に教えていただきました。内科領域でも腸管子宮内膜症などで遭遇することがあり、若年女性の下腹部痛では頻度は高くありませんが、鑑別診断に挙げるべき疾患だと思います。

58 ページ

日 州 医 事 第867号(令和3年11月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 野村 勝政・副委員長 稲倉 琢也

委 員 山崎 俊輔, 植田 雄一, 高橋 典子, 菊池 英維,
石田 康行, 長井 慎成

学 生 委 員 横山慎太郎, 木村 桃子, 平井 昂也, 安藤菜々子

担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)